

2 0 0 4

授業概要

【シラバス】

福祉援助学科

白梅学園短期大学

SHIRAME GAKUEN COLLEGE

目次(福祉援助学科)

教養教育科目(1年)	1
教養体育(実技)	3~4
教養体育(講義)	5
外国語Ⅰ	6~10
外国語Ⅱ	11~15
海外語学研修	16
専門教育科目(1年)	17
社会福祉概論Ⅰ	19
社会福祉概論Ⅱ	20
老人福祉論Ⅰ	21
老人福祉論Ⅱ	22
リハビリテーション論	23
レクリエーション活動援助法	24
老人の心理	25
障害者の心理	26
家政学概論Ⅰ	27
家政学概論Ⅱ	28
医学一般Ⅰ	29
医学一般Ⅱ	30
精神保健	31
介護概論Ⅰ	32
介護概論Ⅱ	33
介護技術Ⅰ	34
介護技術Ⅱ	35
介護技術Ⅲ	36
形態別介護技術Ⅰ(老人)	37
形態別介護技術Ⅱ(内部障害・肢体不自由)	38
形態別介護技術Ⅴ(聴覚障害)	39
介護実習Ⅰ	40
介護実習Ⅱ	41
実習指導Ⅰ	42
福祉研究入門	43
家族福祉論	44
発達心理学	45
遊びの造形	46
シニアの音楽とダンス	47
教養教育科目(2年)	49
ヒューマニズム論	51
総合科目・人間	52
総合科目・生命	53
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	54
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	55

現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命).....	56
人物研究Ⅰ[和泉式部]	57
人物研究Ⅱ[柳田国男]	58
人物研究Ⅲ[有島武郎]	59
心理学入門Ⅰ[心のしくみ]	60
心理学入門Ⅱ[性格と人間関係]	61
体の不思議	62
生物の世界と人間	63
人間と環境	64
生と死を考える	65
人間の生と性	66
生活と健康	67
海外語学研修	68
情報処理演習	69
選択外国語 英会話(基礎)	70
選択外国語 英会話(応用)	71
選択外国語 フランス語会話	72
選択外国語 ドイツ語会話	73
選択外国語 英文購読	74
選択外国語 ビジネス英語	75
選択外国語 時事英語	76
選択外国語 異文化コミュニケーション.....	77
言語とコミュニケーション	78
文学芸術・フィクションと人間	79
造形美術とイマジネーション	80
話し言葉の伝承	81
絵本・絵巻と物語表現	82
源氏物語の世界	83
近現代の日本文学	84
庶民の生活文化	85
現代の文化と風俗	86
現代英米の文学	87
世界の児童文学	88
比較文化論・近代文明と日本人	89
国境を越える民俗学	90
現代社会と人権	91
憲法と私たち(日本国憲法)	92
日本とアジアの近現代史	93
社会福祉の考え方	94
男と女・ジェンダーを考える	95
現代世界とマイノリティー	96
女性労働の問題	97
地域生活と家族	98

専門教育科目(2年)	99
障害児・者福祉論	101
社会福祉援助技術	102
社会福祉援助技術演習	103
家政学実習Ⅰ(栄養・調理)	104
家政学実習Ⅱ(被服・住居)	105
医学一般Ⅲ	106
形態別介護技術Ⅲ(知的障害・精神障害)	107
形態別介護技術Ⅳ(視覚障害)	108
介護実習Ⅲ	109
実習指導Ⅱ	110
実習指導Ⅲ	111
卒業研究ゼミナール	112~116
地域福祉論	117
ホスピスケア概論	118
視聴覚メディア活用法	119

教養教育科目（1年）

【授業科目】 教養体育(実技)	バドミントン
【開講期】 1年前期	【担当者】 松岡由紀子
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・ 運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】 使用しない。	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
【バドミントン】 技能練習とゲーム <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドストローク ・ バックハンドストローク ・ クリアー (ハイクリアー) ・ ドロップ ・ ドライブ ・ ヘアピン ・ プッシュ ・ スマッシュ 3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロングハイサービス ・ ショートサービス 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ダブルス ・ シングルス 	
【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (出席重視) ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】教養体育（実技）	テニス
【開講期】1年前期	【担当者】寺本圭
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のような技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ボール、ラケットに慣れる。 2) フォアハンドボレー 3) バックハンドボレー 4) フォアハンドストローク 5) バックハンドストローク 6) ストロークラリー 7) サービス、レシーブ 8) 試合の進め方 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育（講義）	
【開講期】 後期	【担当者】 岡田光弘
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会におけるスポーツの意義、健康・体力づくりのための基礎知識について学習していくことで「健やかに生きるための基盤」について理解を深めることを目標にする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「現代メディアスポーツ論」 世界思想社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>「スポーツ学のみかた」 朝日出版社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のトピックについて順に、映像資料を用いて提示し、ともに考えてもらう。</p> <p>①テクノロジーの進歩とスポーツ科学</p> <p>②健康問題としてのドーピング</p> <p>③生涯スポーツと障害者スポーツ</p> <p>④現代社会とスポーツの商業化</p> <p>⑤見るスポーツと参加するスポーツ</p> <p>etc.</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、定期試験</p>	

【授業科目】 外国語 I	英語
【開講期】 1 年 前期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 外国語としての英語を読む基礎を身につける 2. とりわけ音声として表現できることを重視する	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. 英語の歌を聞き取りながらその内容を理解する。 2. 英語の歌に関する英文を読む。 3. 映画をもとにしてシナリオなどを学ぶ。 4. 英語を表現する楽しみを学ぶ。 * 日本の歌も英語で歌われているものがあり、それらについても授業で取り上げてみたい。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 外国語Ⅰ	(英語)
【開講期】 1年前期	【担当者】 富澤典子
【授業目標】 1. 英語の歌を繰り返し歌うことで、生きた英語を身につける。 2. 歌うだけでなく、教材を通じて、英語の4技能「聞く」「話す」「書く」「読む」の向上を図る。 3. 補助教材としてマザー・グースを取り上げ、実際の保育に役立つ英語の童謡を習得する。	
【テキスト】 Alive Jives: Studying English with the Hottest Hits 『最新ポップスで学ぶ総合英語』 南雲堂	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】 The World of Mother Goose 『マザー・グースの世界』 南雲堂	
授 業 計 画	
1. この教材には次の12曲が入っています。一回の授業で一曲ずつ進む予定です。 Hello. Goodbye. Music. I Want it That Way. On My Way Home. Living la Vida Loca. I Don't Want to Miss a Thing. What a Girl Wants Bye Bye Bye Fashion Victim Say My Name Reach Baby One More Time	
2. この授業は単に歌を聴いて歌うだけでなく、各章ごとに reading, speaking, grammar, writing の練習があります。歌の中の単語や構文を使って実際に英語を使い、生きた英語を身につけます。	
3. 保育の場で実際に皆さんが指導すると思われるマザー・グースは、プリントを配布します。余裕のあるときに練習します。	
【評価方法】 出席状況、授業態度、定期試験をもとに、後期と総合して評価する。	

【授業科目】 外国語 I	中国語
【開講期】 1 年前期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の基礎文法、を身につけることである。</p>	
<p>【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著『新版 中国語 10 課』白水社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の発音の基本を学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、中国語の基礎文法や対話練習を積み重ねていく。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語 I	フランス語
【開講期】前期	【担当者】森佳子
<p>【授業目標】</p> <p>フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ること、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。</p> <p>I では、まず発音に慣れてもらうこと、名詞にすべて性別があることを理解するまでを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①発音（アルファベの読み方、発音と発音記号を一致させる）</p> <p>②名詞について（男性名詞と女性名詞、単数と複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞）</p> <p>③形容詞について（形容詞の性数は主語と一致する、形容詞の位置、指示形容詞、所有形容詞）</p> <p>④動詞の使い方（8 つの主語について、動詞は主語に応じて変化する、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形）</p> <p>⑤質問のしかた（疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞と定冠詞の縮約）</p> <p>⑥規則動詞の使い方（er 動詞の現在形、 ir 動詞の現在形、代名動詞の現在形）</p> <p>この他、数字（0-20）を適宜覚える</p> <p>各項目、2、3 回程度の授業で終わることを目標とする</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ	ドイツ語
【開講期】1年前期	【担当者】濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」（朝日出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	英語
【開講期】 1 年 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 外国語としての英語を読む基礎を身につける 2. とりわけ音声として表現できることを重視する	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. 英語の歌を聞き取りながらその内容を理解する。 2. 英語の歌に関する英文を読む。 3. 映画をもとにしてシナリオなどを学ぶ。 4. 英語を表現する楽しみを学ぶ。 * 日本の歌も英語で歌われているものがあり、それらについても授業で取り上げてみたい。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】外国語Ⅱ	(英語)
【開講期】1年後期	【担当者】富澤典子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化体験の教材を取り上げ、異文化を通じ自分の文化を見直す機会を持つ。 2. 簡単なエッセイを読みリーディングの力をつける。 3. 教材の練習問題を通じ、文法の復習、強化を図る。 	
<p>【テキスト】</p> <p>予定：Knowing Yourself, Knowing Japan. 南雲堂</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 一回の授業で一章進む予定です。 2. 授業は音読を通じ、耳からの理解も図ります。 3. このエッセイ作者（アジア）の異文化体験だけでなく、中近東の人々の考え方、生活様式なども紹介し、できるだけ多くの文化に触れる機会を持ちます。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業態度、定期試験の3点で評価します。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	中国語
【開講期】 1年後期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】</p> <p>この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力をさらに高めることである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>方如偉・王智新・鑑屋一著『新版 中国語10課』白水社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、中国語の会話能力と基本文法を習得する。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ	フランス語
【開講期】後期	【担当者】森佳子
<p>【授業目標】 前期同様、フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ること、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。 Ⅱでは、Ⅰで学習したことをふまえ、言いたい事をフランス語で表現できるようになることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p>----- 【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①不規則動詞について（aller 行く と venir 来る の現在形、近い未来と近い過去の作り方、他の不規則動詞） ②複合過去形について（複合過去とは、avoir を使うタイプ、être を使うタイプ、代名動詞を複合過去にするには） ③未来形について（単純未来形とはなにか、前未来形とはなにか） ④質問のしかた（疑問副詞—いつ・どこ・どのように・なぜ、疑問代名詞—だれが・なにを、疑問代名詞—どれ・だれ、疑問形容詞—どんな・なんの、非人称構文—天候・時間） ⑤比較について（比較級とは、最上級とは、特殊な形について） この他、数字（20-1000）を適宜覚える 各項目、3回程度の授業で終えることを目標とする</p>	
<p>【評価方法】 定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ	ドイツ語
【開講期】1年後期	【担当者】濱野 英巳
【授業目標】 ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。	
【テキスト】 清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」（朝日出版社）	
【参考書】 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 	
注：「外国語Ⅱ（ドイツ語）」は、「外国語Ⅰ（ドイツ語）」の単位取得者か、相応のドイツ語力を有する者のみ履修可能。	
【評価方法】 出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。	

【授業科目】 海外語学研修	
【開講期】 1年 2年 前期&夏期集中	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>3週間イギリスでホームステイしながら、現地の大学語学センターによる授業を受け、ナマの英語に触れながら、英語運用能力を高める。さらに、英語文化圏の生活に触れることによって英語という言葉の背後にある文化を吸収し、英語を総合的に理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業の柱は、8月5日成田出発—8月30日帰国の、イギリス滞在にある。 が、前期において、パスポートの取得から現地での生活に関する基礎講義、および簡単な英会話などを事前指導として5回行うことを含む。</p> <p>柱の部分の語学研修は、イギリスのリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学語学センターが提供する研修(午前2コマの英語の授業)に3週間参加し、滞在はホームステイ。平日の午後にはさまざまな課外授業が用意され、世界から集まってきている学生たちと、スポーツや映画鑑賞、町でのショッピングなどできる。さらに、中世の趣を残したヨークという街や、文豪ブロンテ姉妹(「ジェーン・エア」「嵐が丘」などで有名)の暮らしたハワースなどへの遠足も実施する。</p> <p>大まかな日程は以下のようなスケジュールで、費用は47万円ちょっと、分割もできます。</p> <p>8月5日 成田出発(ブリティッシュ・エアウェイズを使用予定) ロンドン着 6日 ロンドン観光 7日 ロンドンから専用バスにてリーズへ 8日 ~ 26日 リーズにてホームステイ 語学研修 27日 リーズから専用バスにてロンドンへ 28日 ロンドン市内自由行動 29日 ロンドン・ヒースロー空港から帰国 30日 成田着</p> <p>担当の中島は全行程を同行します。この授業に参加することで外国語・応用英語の単位認定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地の評価を参考に、全行程の平常点、帰国後のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目】 社会福祉概論 I	
【開講期】 1 年前期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とは何か。その理念と制度、現状を概括的に学ぶ。さらに慈善・社会事業から社会福祉への展開を欧米との比較をしながら振り返る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集「介護福祉士養成講座・社会福祉概論」中央法規</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 回 暮らしと社会福祉</p> <p>2 回 社会福祉とは何か、理念と目的</p> <p>3 回～社会福祉の歩み</p> <p style="padding-left: 2em;">社会福祉の歴史をなぜ学ぶか</p> <p>4 回 イギリスの社会福祉</p> <p>5 回 アメリカの社会福祉</p> <p>6 回 スウェーデンの社会福祉</p> <p>7 回 日本の社会福祉・社会事業成立前</p> <p>8 回 日本の社会福祉・社会事業成立後</p> <p>9～10 回 社会福祉法制と運営実施主体</p> <p>11～12 回 社会保障制度</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="padding-left: 2em;">試験と出席状況</p>	

【授業科目】 社会福祉概論Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>現行の社会福祉の制度と仕組みを突っ込んで理解しそれらが現代にどんな役割を果たし、意味をもつのか。また、社会福祉援助活動に取り組む倫理や専門性を把握する。さらに加速する少子高齢化、地域の役割、国際化といった課題も合わせて取り上げたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集「介護福祉士養成講座・社会福祉概論」中央法規</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1回 所得保障制度(公的年金等)</p> <p>2回 医療制度</p> <p>3回 介護保険</p> <p>4回 社会福祉行政</p> <p>5回 社会福祉の財政</p> <p>6回 社会福祉の主体</p> <p>7回 社会福祉のニーズの把握</p> <p>8回 社会福祉援助の意味、形態、援助方法</p> <p>9回 専門性とマンパワー</p> <p>10回 介護福祉士法の内容と意義</p> <p>11回 地域福祉の現状と課題</p> <p>12回 日本の社会保障の動向と21世紀の社会福祉の現代的課題</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況</p>	

【授業科目】 老人福祉論 I	
【開講期】 1 年前期	【担当者】 矢部広明
【授業目標】 1. 高齢者の精神的・身体的特徴や老化に伴う障害について理解する。 2. 高齢者の生活実態、社会的背景と老人福祉の意義、理念について理解する。 3. 老人福祉関連法(介護保険法及び老人保健法等を含む)と施策の体系を理解する。	
【テキスト】 新版介護福祉士養成講座「老人福祉論」(中央法規出版)	
----- 【参考書】 授業のなかで、指示、紹介する。	
授 業 計 画	
1 老化とは何か 2 高齢者の身体的、精神的、心理的、社会的特性 3 介護保険制度創設の背景 4 介護保険制度の概要と課題 5 少子高齢化と社会問題 6 高齢者の生活実態・介護問題の現状 7 痴呆症をめぐる諸問題 8 老人福祉の歴史(老人福祉法制定以前) 9 老人福祉の歴史(老人福祉法制定後) 10 老人福祉法と老人福祉施策の現状	
【評価方法】 受講態度、毎回実施する出席カード兼用授業アンケート(ビデオ上映した場合は、感想も含む)、中間、期末の択一式筆記試験、出欠状況等で総合評価を行う。	

【授業科目】 老人福祉論Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 矢部広明
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の住宅、就労、その他関連制度の内容と課題を理解する。 2. 高齢者福祉に関わる諸団体の現状と課題を理解する。 3. 高齢者の死をめぐる実態や課題を理解する。 4. 高齢者の福祉ニーズの把握方法と人権擁護のための援助活動のあり方を理解する。 	
【テキスト】 新版介護福祉士養成講座「老人福祉論」(中央法規出版)	
----- 【参考書】 授業時に指示、紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 老人保健法と老人保健事業、老人医療制度 2 高齢者の生活と福祉を支える諸施策の現状と課題 3 高齢者福祉関連団体の現状と課題 4 高齢者とボランティア活動の現状と課題 5 シルバーサービスの現状と課題 6 高齢者の死をめぐる諸課題 7 高齢者のニーズの把握方法と援助、権利擁護の課題 	
【評価方法】 受講態度、毎回実施する出席カード兼用授業アンケート(ビデオ上映した場合は、感想も含む)、中間、期末の択一式筆記試験、出欠状況等で総合評価を行う。	

【授業科目】 リハビリテーション論	
【開講期】 後期	【担当者】 望月彬也
<p>【授業目標】 リハビリテーションはだれでも知っている言葉になりましたが、その意味はせまい範囲で考えられていることがしばしばあります。失われた身体機能をできるだけもとどりにする機能訓練とおもわれていますが、それはこの言葉のほんの一部です。ほんとうは日本語に一言では翻訳できないぐらい奥の深い言葉です。その意味を正しく捉えて介護福祉士の仕事のなかで生かしていければと思っています。</p>	
<p>【テキスト】 リハビリテーション論 中央法規出版</p>	
<p>----- 【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1 リハビリテーションの理念と基本原則 <ol style="list-style-type: none"> 1) ハビリテーション事業の発展と現代社会におけるリハビリテーションの需要 2) リハビリテーションの概念及び基本原則 3) ハビリテーションにおける総合的サービス体系 2 障害の程度とその影響 <ol style="list-style-type: none"> 1) 老化による機能障害 2) 障害者の身体的障害、知的障害、精神的障害、重複障害 3) 障害児の発達障害 3 リハビリテーションの展開過程 <ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーション課程（相談と事前評価、リハビリテーション計画の作成（目標の設定を含む、実施、実施後の評価） 2) 個人的特性の把握 3) 日常生活動作（ADL）評価 4) 職業評価 5) 社会参加の実現 4 リハビリテーションと介護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持・拡大への援助 2) リハビリテーション分野の専門職との連携 5 事例研究 <ol style="list-style-type: none"> 障害形態別の事例 	
<p>【評価方法】 筆記テスト</p>	

【授業科目】レクリエーション活動援助法	
【開講期】 1年 前期・後期	【担当者】浮田千枝子・高橋紀子
<p>【授業目標】 介護の現場で必要とされるレクリエーション活動援助に関する基本的な知識や技術、援助者の役割と態度について学ぶ。また、介護現場でのレクリエーションの計画技術や援助実践能力の習得に力点をおき、個人ニーズの理解に基づいた利用者に応じたレクリエーション援助の展開法について実技および演習形式で学習する。</p>	
<p>【テキスト】 『レクリエーション活動援助法』中央法規出版</p>	
<p>【参考書】 随時提示する。また、授業中にプリント等を配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p><前 期> 目標：①レクリエーションについての基本的な理解を得る ②さまざまなレクリエーションの素材を体験し、その提供方法を学ぶ。特にグループを活用したレクリエーション体験を中心に学ぶ。 内容：Ⅰ. レクリエーションの基本的理解 ・レクリエーションとは何か ・社会福祉におけるレクリエーションの役割 ・福祉サービス利用者の生活の特徴とレクリエーション活動の意義 ・社会福祉とレクリエーションの歴史 など Ⅱ. レクリエーション活動の体験とその提供方法 ・コミュニケーションを促進する実技 ・福祉サービス利用者を意識したレクリエーション活動の体験 ・グループを活用したレクリエーションの提供方法 など</p> <p><後 期> 目標：①レクリエーション活動の援助計画の立て方を学ぶ。 ②利用者一人ひとりにふさわしい個別レクリエーション活動の提供方法を学ぶ。 ③事例研究を通して援助者の役割を学ぶ。 内容：Ⅰ. レクリエーション活動援助計画の立案～介護実習Ⅰを素材に～ ・援助計画立案の基礎（条件、手順、など） ・援助計画立案の実際<演習> ・実施と評価の方法 ・実習でのレクリエーション活動援助の振り返り Ⅱ. 個別レクリエーション活動の提供方法～介護実習Ⅱに向けて～ ・利用者の理解とニーズをどう把握するか ・余暇歴およびレジャーカウンセリングの方法 ・個別レクリエーション活動援助の要点とその方法 Ⅲ. 事例研究および援助者の役割 ・高齢者へのレクリエーション活動援助 ・障害者へのレクリエーション活動援助 ・レクリエーション活動援助者に求められるもの～まとめ～</p>	
<p>【評価方法】 出席・授業態度・授業中に課すレポート・学年末試験により総合的に評価する</p>	

【授業科目】 老人の心理	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 安藤孝敏
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、高齢者の心理的特徴に関する基礎的な知識を学ぶことにより、支援したり介護したりする高齢者をより深く理解できるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>長嶋紀一（編著） 介護福祉士選書7「新版 老人心理学」 建帛社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 老化とは 老化のとらえ方、老化説、老化のあらわれ方について理解し、老年期とはどのような時期であるのかについて考える。 2. 精神機能と知的機能の変化 加齢にともなって精神機能と知的機能がどのように変化するのかについて理解する。 3. 老年期のパーソナリティと適応 パーソナリティの発達理論やパーソナリティの変容について知ることにより、老年期のパーソナリティをより正しく理解する。 4. 老年期の異常心理 意識混濁、妄想、幻覚などの高齢者にみられる異常心理を理解する。 5. 老年期痴呆 痴呆の原因と種類、症状のあらわれ方や経過、心理的特徴、具体的対応の仕方などを理解する。 6. 老年期の人間関係 老年期における人間関係を高齢者自身の変化と環境の変化からとらえ、どのようにすれば老年期の生活の質を高められるのかについて理解する。 7. 高齢者と死 死の定義、死に対する恐怖、死についての態度の発達、死のプロセスなどを知り、老いの究極点である死についての理解を深める。 8. 高齢者とのかかわり方 高齢者の生涯学習と社会参加、高齢者への精神的援助としての精神療法などについて理解する。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末試験と出席状況により評価する</p>	

【授業科目】 障害者の心理	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 堀江まゆみ
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近年の「障害概念」について理解し、障害のある人に関する基本的な知識と理解を得る 2. さまざまな障害の特徴とその「理解のあり方」について理解を深める 3. 地域生活をおくる障害のある人に生起する「心理的問題」とその援助について、事例を通して考える 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中で提示する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「障害概念」の理解 <ol style="list-style-type: none"> ① 近年の「障害概念」の変遷とその意味するもの ② 「障害」と生活のしづらさの関連 ③ 「障害概念」の変化と現代社会の有する問題 2. さまざまな障害に関する基本的理解 <ol style="list-style-type: none"> ① 視覚障害の特徴とその援助 ② 聴覚障害の特徴とその援助 ③ 知的障害の特徴とその理解 ④ 脳性まひの特徴とその援助 ⑤ その他の障害について 4. 障害のある人の生活支援と心理的援助 <ol style="list-style-type: none"> ① 障害のある人の生活－先天性障害と中途障害 ② 障害の「受容」と心理的援助 ③ 障害のある人の自己実現と心理的援助 5. 現代社会における障害のある人を取り巻く現状と課題－事例を通して <ul style="list-style-type: none"> ・トピックスとして事例を紹介するので、グループ討議しながら問題を考える 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（持ち込み不可）、出席点</p>	

【授業科目】 家政学概論 I	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 風見 公子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の生理機能と栄養の関係について理解させる。 2. 高齢者、障害者（児）の栄養摂取など、食生活のあり方について理解させる。 3. 食品衛生を含んだ食品についての知識を学ばせる。 4. 調理の概要について理解させる。 	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">山口和子 編著 「家政学概論Ⅱ－栄養・調理編－」 建帛社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">参考書は授業の中で、適宜、紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の機能と栄養素 <ol style="list-style-type: none"> 1) 栄養摂取の意義と口腔からの食物摂取 2) 栄養素の機能とその消化吸收 3) 栄養所要量 4) 食事リズム 5) ストレスと栄養 2. 高齢者・障害者（児）と栄養 <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者の栄養と食生活のあり方 2) 障害者（児）の栄養と食生活のあり方 3) 生活習慣病予防と食事 3. 食品・調理 <ol style="list-style-type: none"> 1) タンパク質性食品の性質と調理特性 2) 脂肪性食品の性質と調理特性 3) 炭水化物性食品の性質と調理特性 4) 食品成分の変化 5) 食品の保存性と安全性 6) 食べ物の嗜好性、おいしさ 7) 調理器具、設備、エネルギー源 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">課題レポート及び出席状況、小テスト</p>	

【授業科目】 家政学概論Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 神部順子
<p>【授業目標】</p> <p>家政学とは家庭の生活を中心に人間の生活について考える学問です。家政学概論Ⅱでは、食生活（「家政学概論Ⅰ」）を除く3つの領域（家庭生活、被服生活、住生活）についてその概略を述べた後、統合的に家庭生活を理解することが目的となります。介護を要する人の生活を①日々行う行動面②人生の出来事としての行動面の2つの側面から生活を捉え、個々に応じた生活援助（家事援助）ができるようになることを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>中川英子編著「介護福祉のための家政学」建帛社 2004</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. ガイダンス</p> <p>2. 家庭生活</p> <p>2-1. 家族・親子・夫婦を考える</p> <p>2-2. 家族の法律／家事労働と介護労働</p> <p>2-3. 家計</p> <p>2-4. 消費生活と環境／家族・地域・社会を超えて</p> <p>3. 被服生活</p> <p>3-1. 被服の役割</p> <p>3-2. 被服の素材</p> <p>3-3. 被服の選択と高齢者・障害者の衣服</p> <p>3-4. 被服の管理</p> <p>4. 住生活</p> <p>4-1. 住まいのあり方</p> <p>4-2. 高齢者・障害者の住まい—制度と事例—</p> <p>4-3. 高齢者・障害者の住まいの工夫</p> <p>4-4. 暮らしやすい生活環境づくり</p> <p>5. 総括</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業態度・出席状況、レポート、試験により総合的に判定します。</p>	

【授業科目】 医学一般 I	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <p>人体の解剖・生理を中心に学習する。これらを基礎として、肢体不自由や内部障害・加齢現象や加齢による障害の理解をはかる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>からだの構造と機能 A. シェフラー ,S. シュミット著 (西村書店)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 人体の構造と機能 エレインN. マリーブ著 (医学書院)</p> <p>介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 人体の解剖学・生理学—人体の各部の名称と構成、機能の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 脳・神経系 2) 循環器系 3) 呼吸器系 4) 消化器系 5) 泌尿器系 6) 生殖器系 7) 内分泌系 8) 血液系 9) 感覚系 10) 運動系 <p>2. 肢体不自由や内部障害の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 肢体不自由とは <ol style="list-style-type: none"> ① 脳卒中後遺症による肢体不自由 ② 脳性麻痺、脊髄損傷、慢性関節リウマチによる肢体不自由 2) 内部障害の理解 <ol style="list-style-type: none"> ① 心機能障害 ② 呼吸機能障害 ③ 腎機能障害 ④ 消化器機能障害 <p>3. 高齢者の心身機能障害に対する理解</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点と筆記試験</p>	

【授業科目】 医学一般Ⅱ	
【開講期】 1年 後期	【担当者】 明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の構造と機能の総合的理解をはかる。 2. 胎生期から老年期に至る発達・成長・加齢現象の理解を基礎として、高齢者と高齢者疾患に対する理解を深め、その対処法を習得する。 3. 福祉現場で遭遇する代表的疾患の理解をはかる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)</p>	
<p>【参考書】</p> <p>ベッドサイドマニュアル 成人内科看護 (中央法規) エキスパートナース 内科疾患看護マニュアル (小学館) 看護観察のキーポイントシリーズ 高齢者 (中央法規)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各器官の構造と機能の理解と、臓器相互関係の理解も図る 2. 胎生期から老年期に至る発達・成長・加齢現象の理解 <ol style="list-style-type: none"> ① 老人特有の症候の理解と対処法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 意識障害 2) 不眠 3) 転倒 4) 尿失禁 5) めまい 6) 誤嚥 7) 腰痛 8) 脱水・浮腫 9) 便秘 10) decubitus 11) 譫妄 12) 手足のしびれ など ② 老年者の救急疾患と対策：心臓血管系疾患・精神神経疾患・呼吸器疾患・ 消化器疾患での救急時の症状理解とその対処法の修得。 ③ ターミナルケア：ターミナルケアの捉え方と理想的なターミナルケアの在り方を考える 3. 代表的疾患の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 循環器系；高血圧・虚血性心疾患・心不全・不整脈など 2) 脳・神経系；脳血管障害・神経痛・末梢神経障害・パーキンソン病・脳性麻痺 脊髄小脳変性疾患・筋疾患・など 3) 内分泌・代謝系；糖尿病・痛風・甲状腺機能亢進症と低下症・高脂血症など 4) 腎・泌尿器系；尿路感染症・前立腺肥大症・前立腺癌・膀胱癌・腎不全など 5) 血液系；貧血・成人 Tcell 白血病・悪性リンパ腫など 6) 呼吸器系；肺炎・結核・インフルエンザ・ARDS 7) 消化器系；肝炎・出血性大腸菌感染症・消化性潰瘍など 8) 各種感染症；法定伝染病・指定伝染病・食中毒・日和見感染・MRSA など 9) 筋・骨・関節系；骨折・脊髄損傷・骨粗鬆症・変形性脊椎症・慢性関節リウマチなど 10) 癌・生活習慣病 11) 難病・先天性疾患 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席点と筆記試験</p>	

【授業科目】 精神保健	
【開講期】 1年 後期	【担当者】 伊藤 敬雄
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会が抱えている精神不健康状態，とくに高齢者や障害者の精神不健康状態に対して，十分な理解とその対応に習熟するために自らが精神保健の大切さを知ることがを目的とする。精神保健の知識ばかりでなく，精神障害の基礎知識を加える。心身障害のために生活に支障をきたしている方々への心身状態把握と同時に，全人間的ケアができる考え方を身につけていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集 『介護福祉士養成講座 11 精神保健』中央法規 2004年</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 精神保健の概念と動向，現代社会における精神保健の意義と役割</p> <p>II ライフステージにおける精神保健の諸問題</p> <p>III 生活の場における精神保健の諸問題</p> <p>IV 精神医学について</p> <p>V 精神障害の基礎知識</p> <p>VI 精神保健福祉行政の概要</p> <p>精神保健の実践的知識の修得と実践の場面での考え方を養っていく。</p> <p>また『精神医学』に触れることで，精神不健康状態を通して人間の在り様を考えることを目的とする。</p> <p>科目の内容が「精神保健福祉法規」や「精神医学」を含むため難解であることから，テキストを要約したプリントを後日配布して，要点をまとめる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>I 授業出席状況</p> <p>II 学期末試験</p>	

【担当科目】 介 護 概 論 I	
【開講期】 1 年 前 期	【担当者】 関谷 榮子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の目的と機能、介護援助の基本原則を理解する。 2. 人間の発達と自立的生活の過程についての知識を持ち、高齢者や障害者の介護並びにその家庭に対する援助について学ぶ。 3. 介護を行うに際して必要な援助方法の理論と実際を学ぶ。 	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">テキスト 介護概論 メジカルフレンド社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">講義の中で随時紹介する。ビデオ教材なども紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の概念 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護の目的・定義（根拠法律 社会福祉士・介護福祉士法 自立支援 人権尊重、生活の質） 2) 介護の倫理（職業倫理、守秘義務、信用失墜行為の禁止） 3) 介護の領域（関係領域、関係職種との連携） 4) 介護の歴史（我が国と外国の介護状況） 2. 介護援助の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護援助の原則 （自己決定 自己選択、自立生活援助、文化的・社会的な生活援助） 2) 介護援助関係 （対人援助の技法 日常生活援助） 3) 介護過程 （科学的問題解決法、個別介護援助計画） 4) 介護援助技術 （観察、ニーズ把握、コミュニケーション、記録、報告） 3. 介護援助の対象 <ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者の理解 （高齢者及び障害者の心理と身体的特徴の理解） （老いとはなにか、一人一人の歴史を知る） （障害者とはどういう人か） 2) 利用者の援助課題 （身体的生活援助 文化的社会的な生活援助） <ol style="list-style-type: none"> (1) 自立的な生活維持に対するニーズと介護の機能 (2) 健康のメカニズムと健康障害時のニーズと介護の役割 (3) 高齢者、障害者（児）の生活障害と介護の役割 (4) 終末ケア、緊急時の対応における介護の役割 (5) 個別ケアの進め方、受け持ち利用者の介護計画 4. 介護管理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境の整備 2) 安楽と安全 3) 社会生活の維持と拡大 4) 生活リズムと健康習慣の維持 5) 労働安全、事故防止 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート 及びペーパー試験</p>	

【担当科目】 介 護 概 論 II	
【開講期】 1 年 後 期	【担当者】 関谷 榮子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護を必要とする人たちの身体・精神的健康状態の変化に対応した、介護援助サービスの提供方法、提供の場について理解する。 2. 介護と家政、看護・医療など関係領域や関係職種との連携について理解する。 3. 個別介護計画及び、ケアプランの作成方法を学び、ケア・マネージメントについて理解する。 4. 介護サービス提供の場について理解する。 5. 自己の介護観を確立する。 	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト 介護概論 メジカルフレンド社</p> <p>【参考書】</p> <p>講義の中で随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護活動の場に特有の問題と介護の技法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入居型福祉施設（長期、短期） 2) 居宅型福祉施設、（在宅支援センター、デイサービス、ホームヘルプサービスなど） 3) 地域における介護福祉事業 2. 個別介護計画（ケアプラン）の立て方と応用方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護計画と記録の方法、活用方法、評価方法 2) ケース・カンファレンスの方法 3) ケア・マネージメントの方法 4) ケアプランの作成と応用の方法を学ぶ 3. 関係機関と関連領域との連携 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護と家政、看護・医療、家政管理、栄養調理、リハビリテーション部門の特徴と連携方法について学ぶ。 2) 地域関係機関との連携・地域ケア部門との連絡連携 4. 地域ケアと在宅ケア <p>ホームヘルプ活動</p> <p>ホームヘルパーとは</p> 5. 緊急時の対応、ターミナルケアの考え方 6. 介護観の確立へ向けての自己学習課題の設定 7. 先進的介護実践事例を学ぶ。 各自の介護実習経験において学んだ介護体験からコミュニケーション方法、痴呆性高齢者理解の技法などを深めて体系化する。 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート 及びペーパー試験</p>	

【授業科目】 介護技術 I	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 西方規恵・土川洋子
<p>【授業目標】 (介護技術 I II III 共通)</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の 2 点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基礎的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
【テキスト】 新版 介護福祉士養成講座「介護技術 I・II」中央法規出版	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1 コミュニケーションの技法</p> <p>2 状態の変化の確認と不調のきざしの発見の技法</p> <p>3 安全で危険のない住まいや居住環境の整え</p> <p>1) 移動スペースに応じた住まいの配置、位置、高さ</p> <p>2) 浴室、トイレ、台所等の居住環境の整え</p> <p>3) プライバシー空間の設営</p> <p>4) 衣類、寝具の衛生管理並びに掃除、ベッドメイキング</p> <p>4 社会生活維持拡大への技法</p> <p>1) 体位交換と安楽な体位の工夫 (用具の用い方)</p> <p>2) 歩行介助、車椅子、ストレッチャー介助</p> <p>3) ベッド上の座位、立位の介助</p> <p>4) 機能維持の運動と機能訓練への援助 つどい、外出、遠出など</p> <p>5 着脱の介護</p> <p>1) 衣類の種類と選択</p> <p>2) 着脱の介助</p> <p>6 排泄の介護</p> <p>1) 排泄のもつ意義</p> <p>2) 排泄の基礎知識</p> <p>3) 排泄のアセスメント</p> <p>4) 排泄介護の実際</p> <p>5) 事故の予防</p>	
【評価方法】 レポートとテストにより評価する。	

【授業科目】介護技術Ⅱ	
【開講期】1年 後期	【担当者】西方規恵・土川洋子
<p>【授業目標】</p> <p>(介護技術ⅠⅡⅢ共通)</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の2点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基本的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新版 介護福祉士養成講座「介護技術」Ⅰ・Ⅱ 中央法規出版</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 身体の清潔</p> <p>口、目、耳、鼻、爪、頭髪等の清潔法、清拭法（全身・部分）、部分浴（手浴・足浴）、入浴法（家庭浴槽、簡易浴槽、機械浴、一般浴）</p> <p>2 福祉用具の概要と活用</p> <p>福祉用具の意義・概要、選択、活用及び管理にかんする援助</p> <p>3 医療、看護対応時の介助</p> <p>受診時の介助、薬の管理と与薬時の介護</p> <p>4 褥創予防と創の手当ての基礎知識</p> <p>5 感染予防</p> <p>6 緊急事故時の対応</p> <p>7 バイタルサイン</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとテストにより評価する。</p>	

【授業科目】 介護技術Ⅲ	
【開講期】 1年 後期	【担当者】 西方規恵・馬場和歌子
<p>【授業目標】</p> <p>(介護技術ⅠⅡⅢ共通)</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の2点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基本的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新版 介護福祉士養成講座「介護技術」Ⅰ・Ⅱ 中央法規出版</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 睡眠の介護</p> <p>2 褥法・マッサージ</p> <p>3 終末期の介護</p> <p>4 記録のとり方と報告のしかた</p> <p>1) 記録の種類と方法、保管</p> <p>2) 報告のしかた</p> <p>5 介護過程の展開</p> <p>1) ケアマネジメントとケアプラン</p> <p>2) ケアプランと介護過程</p> <p>3) 例に基づく介護過程の展開</p> <p>アセスメント、介護計画の作成、実施、評価</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとテストにより評価する。</p>	

【授業科目】	形態別介護技術 I (老人)	
【開講期】	1年 前期	【担当者】 奥津 竹子
【授業目標】 1 加齢による身体的・精神的変化を理解する。 2 人間の成長過程をそれぞれの世代に応じた特徴をつかみ高齢期の現状を知る。 3 社会的・経済的状況を把握し、高齢者の生活を総合的にとらえる。 4 高齢者の尊厳を守り、自己決定を尊重する。人生の先輩である高齢者から学ぶ。 5 高齢者の自立支援に向けての技術を習得する。 6 加齢にともなう機能低下による生活障害、疾病からくる障害などを科学的に理解し、援助技法を学ぶ。 7 多くの高齢者が将来に不安をもって生活している。生きがいのある豊かな老後生活を共につくっていく援助を考える。		
【テキスト】	形態別介護技術	中央法規出版

【参考書】 1 ジョン・P・スローン著 藤沼康樹訳「プライマリケア老年医学」プリメド社 2 窪田暁子「小春日和の午後 ケアの思想を読む」ドメス出版 3 カルドマ 木村哲子「アルツハイマーよ、こんにちは」誠信書房		
授 業 計 画		
1 学生の身近な高齢者から、生い立ちより現在までの生活史の聴き取りを行い、高齢者像を具体的に理解する。 2 まとめられた事例から学び、介護場面を通して高齢者の介護を学ぶ。様々な障害や疾病により、介護・介助を必要としている高齢者の生活支援（自立支援）の技術を習得する。 3 入所施設、通所施設、在宅など介護現場で事例を通して介護技術の実際を学ぶ。 4 具体的な介護をすすめるための福祉制度、社会資源（フォーマル、インフォーマル）、連携する専門職集団について理解し、高齢者へのネットワークづくりを学ぶ。 5 社会参加し、孤独な高齢者を無くし、地域で支え合い、充実した積極的な生き方ができる環境づくりをすすめる。		
【評価方法】	出席数、レポート及びテストにて行う	

【授業科目】形態別介護技術Ⅱ(内部障害・肢体不自由)	
【開講期】 1年 後期	【担当者】 石戸 孝子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肢体不自由・内部障害に関する医学的基礎知識を習得する。 2. 肢体不自由者（児）・内部障害者の生活・心理を理解する。 3. 肢体不自由者（児）・内部障害者に対する日常生活上の介助・介護方法を体系的に理解する 	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">テキスト 障害形態別介護技術 （中央法規出版株式会社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">参考書、資料、ビデオなどを講義の中で随時紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 肢体不自由・内部障害を起こす原因、疾患、障害の状態の理解と合併障害の把握 2. 肢体不自由者（児）・内部障害者の生活障害の特徴 3. 障害を持つ人々の心理や行動特徴 4. 肢体不自由者（児）・内部障害者のニーズにあった介護技術とQOL向上をめざした生活支援の方法 5. 介護に必要な福祉用具の知識と活用方法 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点・レポート・筆記試験にて評価する</p>	

【授業科目】形態別介護技術Ⅴ（聴覚障害）	
【開講期】 1年 前期	【担当者】 奥田 啓子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害に関する医学的基礎知識を理解する。 2. 残存感覚機能を理解し、福祉機器の活用法を習得するとともに、音声言語に代わるコミュニケーション方法について理解する。 3. 聴覚障害者の生活・心理に配慮した介護のあり方を考える。 4. ろう重複障害者に対する介護・援助について考える。 5. 聴覚障害当事者を中心とした社会的活動の展開について理解する。 	
<p>【テキスト】 『手にことばを』（初級） 東京都聴覚障害者連盟 発行</p>	
<p>【参考書】 『わたしたちの手話』（1） 全日本ろうあ連盟 発行 その他、講義の中で随時紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>* 講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害の原因・種類・程度と聴覚障害者の日常生活 2. 聴覚障害者のコミュニケーション方法 3. 残存感覚機能を活用するための福祉機器について 4. 聴覚障害者と社会生活・・・バリアフリーをめざす諸活動の展開 5. 介護上の諸問題への理解と対応（ビデオ等を参考にして具体的な事例について考える） <p>* 手話実技</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手話の基礎単語・数字の表現と指文字の習得 2. 自己紹介 3. 簡単な日常会話 4. 介護場面で想定される会話の手話表現練習 <p>* 聴覚障害に起因する日常生活・社会生活上の様々なバリアについて理解して欲しい。また、当事者による社会的活動の展開を含め、障害者を取り巻く社会状況の変化にも広く目を向けて福祉援助・介護の問題と結びつけて考えていく力を身につけるよう期待する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>手話表現の発表・平常点および筆記試験によって評価する。</p>	

【担当科目】介 護 実 習 I	
【開講期】 1 年 後 期	【担当者】 関谷 榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
<p>【授業目標】</p> <p>介護実習第Ⅰ期</p> <p>(1) 利用者が施設を利用することになった経過や現在の生活状況を把握する。</p> <p>(2) 要介護高齢者及び障害者とのコミュニケーション技法を学び、全人的理解と身体的・精神的ケアの方法を習得する</p> <p>(3) 施設における日常生活の援助に関する基礎的な介護技術を習得する。</p> <p>(4) 施設の概要を理解し、施設職員の役割、職種と業務内容を知る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p style="text-align: center;">実 習 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の沿革、方針、建物の構造、業務内容、職員の勤務体制、職員構成、サービス内容、などについて理解する。 2. 介護の視点と援助方法を把握し、施設職員にふさわしい態度を身につける。 3. 利用者について理解する。 4. 利用者とのコミュニケーションの方法を習得する。 5. ボディランゲージなどの非言語的コミュニケーションの有効な活用方法を習得する。 6. 日常生活の介護・援助方法を習得する。 7. 学生自身が見聞あるいは体験した介護技術の目的と意義を理解する。 <p>実習期間 平成16年11月1日から19日までの15日間 実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【担当科目】 介 護 実 習 II	
【開講期】 1 年 後 期	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
【授業目標】 介護実習第Ⅱ期 (1) 利用者の障害のレベルと内容に応じた介護技術を習得する。 (2) 施設における他職種の業務の実際について学び連携の意義と方法を知る。 (3) 地域社会における施設の役割を理解し在宅福祉サービスの各事業とその機能について学ぶ。 (4) 受け持ち利用者を選定しアセスメントの一部（情報収集）を体得する。	
【テキスト】 実習要項他	
【参考書】	
実 習 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の沿革、方針、建物の構造、業務内容、職員の勤務体制、職員構成、サービス内容、などについて理解する。 2. 利用者の障害に応じた個別的な介護技術を習得する。 3. 他職種との連携方法を学ぶ 生活相談員、医師、看護師、栄養士、調理師、理学療法士、作業療法士、の業務を学び、職種による専門性と役割を理解する。 また介護職員との連携の意義と方法を学ぶ。 4. 地域における施設の役割を理解する。 ショートステイ、デイサービス、入浴サービス、ホームヘルプサービス、在宅介護支援センターなどの機能について学ぶ。 5. 受け持ち利用者のアセスメントの方法を学ぶ。 1) 実習終了までに実習指導者の助言を得て受け持ち利用者の情報収集をする。 2) 実習終了後に受け持ち利用者の介護上の課題を把握する。 その際には利用者の持つ力を引き出し強めるような援助の視点を修得する。 6. 許可されればケア会議に参加し利用者のケアプランが作成評価される過程を学ぶ。 7. 行事・レクリエーション活動への参加 行事レクリエーション活動に参加し、企画・実施・評価のプロセスを学ぶ。 <p>実習期間 平成16年2月21日から3月11日までの15日間 実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	

【担当科目】 実 習 指 導 I	
【開講期】 1 年 後 期	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
【授業目標】	
<p>(1) 第Ⅰ期介護実習に向けて実習の意義と方法を学び、各自の介護福祉士としての自己覚知を深める。</p> <p>(2) 実習事前・事後学習を通じて実習に必要な知識・技術、態度を身につける。</p> <p>(3) 介護過程の学習を深め、第Ⅱ期実習の学習課題を準備する。</p>	
【テキスト】	
実習要項他	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p><実習前準備></p> <p>配属施設の決定 (7月)</p> <p>1. 介護実習第Ⅰ期に向けての準備 (9月より)</p> <p>1)実習前のオリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的の理解 ・学生の自己学習目標をたてる。個別あるいは集団指導を行う。 <p>2)実習の注意について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務、実習生としての態度、対人援助技術を身につける。 ・見学実習の意義を理解する。 <p>3)事前学習、事前オリエンテーション</p> <p>4)実習記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義と書き方 ・記録の取扱い方 <p style="text-align: center;">－ 第Ⅰ期介護実習 (11月1日～11月19日まで) －</p> <p><実習後></p> <p>2. 第Ⅰ期実習後のスーパービジョン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)グループスーパービジョン 2)記録の評価 3)実習のまとめ 自己評価 4)個別面接 <p>3. 第Ⅱ期実習に向けての準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)配属施設の決定 (12月) 2)介護過程 (介護計画の立案、実施、評価) についての学習 3)個別面接 <p style="text-align: center;">－ 第Ⅱ期介護実習平成17年2月21日 (月) － 3月11日 (金)</p> <p>第Ⅱ期実習反省会 実習後のスーパービジョン (3月16日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)グループ討議 2)実習のまとめ 	
【評価方法】	
出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	

【担当科目】	福祉研究入門	
【開講期】	1 年 前 期	【担当者】明渡陽子、関谷榮子、西方規恵、土川洋子、山路憲夫
【授業目標】	1. 祉研究に対する関心を深め初歩的な研究的態度を学ぶ。 2. 文献抄読、文献研究に関する初歩的な方法を理解する。 3. 小グループのディスカッションを体験して、人の意見を傾聴し、自分の考えをまとめる方法を学ぶ。	
【テキスト】	1. 小山内美智子『あなたは私の手になれますか』中央法規出版¥1500 その他授業時に紹介する。	
【参考書】		
授 業 計 画		
授業の初日にオリエンテーションを行う。		
4/13	グループの発表と自己紹介を行う。『あなたは私の手になれますか?』の紹介、ビデオ鑑賞	
4/20	<新入生オリエンテーションセミナー>に全員出席すること。	
4/27	第2回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅱ章	
5/11	第3回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅲ章	
5/18	第4回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅳ章	
5/25	第5回 以後は追ってお知らせします。	
6/1	第6回	
6/8	第7回	
6/15	第8回	
6/22	第9回	
6/29	第10回	
7/6	第11回	
7/13	第12回 介護実習第Ⅰ期オリエンテーション 実習施設の配属先発表	
【評価方法】	出席点、 レポート・その他により評価する。	

【授業科目】 家族福祉論	
【開講期】 1年後期	【担当者】 斉藤弘子
<p>【授業目標】</p> <p>現代家族は少子高齢化を抱え、社会福祉とのかかわり抜きでは考えられません。 この授業では、少子高齢化社会のなかでの児童、障害者、高齢者の実態を探り、社会福祉と家族・家庭のあり方を探っていきたいと考えています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業中に、随時、参考資料プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1, ガイダンス 2, 子どもを取り巻く状況について 3, 子どもと家族 4, 子育てと社会福祉 5, 障害者を取り巻く状況について 6, 障害者と家族 7, 障害者と社会福祉 8, 高齢者を取り巻く状況について 9, 高齢者と家族 10, 高齢者と社会福祉 11, 社会福祉の体制 12, 社会福祉と家族・家庭 13, 地域社会での支援体制 14, 地域社会と家族・家庭 15, まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（授業中の小レポートを含む）および学期末のレポートによる</p>	

【授業科目】発達心理学	
【開講期】1年 前期	【担当者】堀江まゆみ
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の発達に関する基礎的な知識について学び、老いにいたる過程を含めて生涯発達の視点から理解を深める 2. 子どもや老人の発達・生活を支援するために、周囲の支援者が果たす役割について考える 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中で提示する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達とは何か？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達の捉え方と発達過程・課題 ・ 生涯発達と、発達のメカニズム ・ 発達をはぐくむものと阻害するもの 2. 発達のプロセス <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳・幼児期の発達とその特徴 ・ 児童期の発達とその特徴 ・ 青年期の発達とその特徴 ・ 老年期の発達とその特徴 3. 生涯発達で注目する発達課題について考える <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期：人とかかわりを豊かにするもの—対人関係とコミュニケーションの発達 ・ 児童期・青年期：自分らしさをつくるもの—自己の発達と人格— ・ 老年期：人生の選択と決定を支えるもの 4. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（持ち込み不可）、出席点</p>	

【授業科目】 遊びの造形	
【開講期】 1年後期	【担当者】 枝常 弘 (えだつね ひろし)
【授業目標】 ① まず自分自身、造形活動への興味と関心を深める。 ② 表現としての造形力に、自信を失った生徒にも意欲を持たせる。 ③ 必要とされる道具と材料に慣れ、親しみ、技術への自信を持たせ習得させる。 ④ 高齢者の心を理解し、環境に役立ち、遊びに役立つものを考える力をつける。	
【テキスト】 特になし	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】 特になし	
授 業 計 画	
<p>実技製作を中心に進め、相互の活動を見ることで、互いに刺激し合うような机の配置にする。道具を使う技術は経験が役に立つので、いろいろな課題で慣れさせながら、認識を深めさせる。</p> <p>「道具類」 はさみ、カッターナイフ、カッターマット、ものさし、のり、テープ類</p> <p>「材料類」 画用紙、いろがみ、上質紙、ボール紙、ダンボール紙、空き箱、プラスチック容器</p> <p>「描画材」 鉛筆、色鉛筆、クレヨン、クーピーペンシル、水性、油性のマーカー、水彩絵の具</p> <p>テーマ ① 色画用紙で名札作り ② 折り紙、切り紙でうさぎ作り ③ 切り紙でコスモス畑 ④ 五角、六角の型紙を作る ⑤ 柿の実と落款（らっかん）作り ⑥ フリーハンドの切り紙 ⑦ きれいな落ち葉作り ⑧ 飛び出すカード その1 ⑨ 飛び出すカード その2 ⑩ 飛び出すカード その3 ⑪ お年寄りの方にあげるお祝いのカード製作 ⑫ 自分の作った作品を整理してファイルにする ⑬ 提出</p> <p>お祝いのカードは返却をせずに、実際の施設に提供をする。 生徒の意欲と責任感を増す為に、社会と直接結び付いた作品作りを目指す。</p>	
【評価方法】 カードの提出と、A4サイズのファイルに、自分の作品をまとめて最終日に提出。整理の仕方と作品とを合わせ見て、技術よりも意欲を評価する。	

【授業科目】 シニアの音楽とダンス	
【開講期】 1年前期	【担当者】 高林 眞理、有川いずみ
<p>【授業目標】</p> <p>≪高林≫音楽のもっている不思議な力を考え、高齢者の心を解きほぐし、生き生きとした喜びを呼び覚ますことの出来る音楽を提供するために必要な基礎知識の習得と基礎技能の実践を行う。</p> <p>対象者にそった音楽活動をするために、昔の歌や高齢者の好みの歌や曲を知り、歌ったり楽器を使って表現する方法を学ぶ。</p> <p>≪有川≫本来人間は、自由な身体の動きを持っています。それは、生涯にわたり、健康や生きがいにつながっていく動きです。</p> <p>その動きをみつける作業を通して、言葉を越えた身体と身体のコミュニケーションを体験し、さまざまな状況にある人たちと踊る楽しさ・表現する喜びを共有できる方法を探究します。</p>	
【テキスト】 ≪高林≫秋山治子・高林眞理共著 「キラッと歌って」 共同音楽出版社	
----- 【参考書】 ≪高林≫貫 行子著 「高齢者の音楽」 音楽之友社	
授 業 計 画	
<p>≪高林≫①音楽が人間に及ぼす影響について</p> <p style="padding-left: 2em;">高齢者にとっての「なじみの音楽」とは</p> <p>②高齢者の「なじみの歌」の背景にあるもの、歌詞についての理解</p> <p style="padding-left: 2em;">歌唱の実践</p> <p>③高齢者施設で使用される楽器による器楽あそびと歌唱の実践</p> <p>④さまざまな高齢者音楽活動の紹介と考察。</p> <p>⑤対象者にそった音楽について</p> <p>⑥記録・評価をふくめ 音楽活動プログラムを考える。</p> <p>⑦グループワークで「高齢者がいきいきと活動出来る音楽活動」を創作、発表する。</p> <p>≪有川≫ (1) 身体で表現する事の意味と意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で見られる身体表現とダンス ・ 一人一人の充実した生につながる身体表現とダンス <p>(2) ダンスプログラムの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズミカルに身体を動かす ・ グループでダンスを楽しむ ・ 道具を使って踊る ・ 即興でイメージを表す ・ 作品づくり <p>(3) 感性や創造性を分かちあう援助</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>≪高林≫①出席状況 ②レポート</p> <p>≪有川≫ (1) 授業に対する取り組み方・出席</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 授業中に行う実技試験（技術点ではありません）と平常点</p>	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 ヒューマニズム論	
【開講期】 前期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】</p> <p>「ヒューマニズム」とは、「<u>人間の価値を第一と考へ、人間が最高で、人間性こそ尊重すべきもの</u>」だとする、態度・思想傾向・世界観のことだと、説明されている（「岩波国語辞典」）。そして、この「ヒューマニズム」——「人間を愛し、人間の価値を最高度の実現しようとするヒューマニズムの精神」を、<u>白梅学園短大は「建学の理念」としている</u>（『学生便覧』等）。</p> <p>しかし、<u>なぜ「人間の価値」が「第一」なのだろう。なぜ「人間性こそ尊重すべき」なのだろう。なぜ「人間を大切にすべき」なのだろう。</u>言い方を換えれば、<u>なぜ、「ヒューマニズム」は「正しい」なのだろう。</u>——「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は「<u>世間的通念に流されているだけ</u>」なのではないか。</p> <p>「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に「人間の支え」になりうるのか。<u>つまり、「現代におけるヒューマニズム」は可能なのか。</u>「ヒューマニズムの精神＝建学の理念」も、自由な立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、このような「問いかけ」を大切に、有島武郎等の「実例」にも触れながら、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点に、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切に」するのか、</u>という問題に迫っていきたいと思っている（たぶん「明瞭な結論」は出ないだろうが）。——大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p> <p>大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>◆ <u>授業中の「私語・内職」はもとより「よそ見・ぼんやり」も厳禁する。</u></p> <p>これらの行為は教室の「空気」を乱し、「ライブとしての授業」に必要な「ピーンと張りつめた緊張感」を崩し、その結果「授業のレベル」を下げて、そのことで、真面目に学ぼうとする学生の迷惑になるからである。<u>注意に従わぬ学生は追放し、以後の受講を認めない。</u></p> <p>◆ 「実習」や、病気・不慮の事態以外は、<u>一度も休まずに出席することが大切。</u> 病気等やむをえぬ理由でも、実授業数の2/3以上出席していなければ受験資格は与えない。</p> <p>◎ <u>講義を「全身全霊で聞き・感じ取り・考えようとする態度」があれば大丈夫</u>（無ければダメ）。<u>「板書」は、ほとんどしない。「黒板写し型勉強」から脱却しよう。</u> 何よりも、話をよく聞いて、その場で「感じ」、その場で「考え」、その場で「理解できるだけ理解してしまう」ことが大切。——ノートを取るべきポイント等は、授業中に指摘するから、安心して大丈夫。内容的には、予備知識が無くても、最低限必要なことは「分かる」はずだ。</p> <p>おおむね、以下の順序で講義する予定（諸君の問題意識や理解度によって途中変更あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ①「根源的に問う」こと ②「自己」と「世界」 ③何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」（有島武郎等） 2 我々の状況——近代における「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ①近代と前近代——「人間」の問題として ②「神・超越性」と近代人（有島武郎等） ③近代的「人間」観と、その問題点 ④「近代ヒューマニズム思想」について ⑤何に抗って「人間を大切に」するのか 3 現代の状況と人間 ①「国家」と人間 ②「資本」と人間 	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】 総合科目・人間	「言語活動と人間」
【開講期】 前期	【担当者】 東・中島・佐々
【授業目標】 東：人間とことば。 中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。 佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。	
【テキスト】 東・中島：プリントを使用 佐々：使用しない。適宜プリントを配布する	
【参考書】 東・中島：授業中に紹介する 佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』ほか	
授 業 計 画	
東→中島→佐々 の順で授業する。 東：次の順で講義する。 (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 中島：次の順で講義する。 (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラウド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） 佐々：計画 (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討	
【評価方法】 東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。 中島：出席点とレポート 佐々：平常点の重視、レポートによる評価	

【授業科目】総合科目・生命	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子・近藤正樹・柳下登
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学をbackgroundにもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】 柳下登：プリントを使用 近藤正樹 明渡陽子：プリントを使用</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社） 近藤正樹 明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】 柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ (近代国家と戦争)	
【開講期】 前期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】</p> <p>近代・現代の戦争と平和の問題を通してヒューマニズムについて考える。戦争発生メカニズムを探る中で、あらためて平和の意味を考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、それへの対応として起こされたイラクでの戦争が果たして適切であったのか。暴力の連鎖が何を生み出し、また、私たちの現在と未来に何をもたらすのかを考えてみるのが重要なてがかりとなるだろう。</p> <p>現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題は、そういったこととどのような関係があるのかといった点からも検討を深める必要がある。また、戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か ◇近・現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	
【開講期】前期	【担当者】 八田恵子
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの日常的な行為である消費を学問として、歴史的な観点から見ていく。それにより大衆消費社会における消費者としての客観的な視点を養いたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。必要に応じ資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>私たちは大衆消費社会の中に生きている。大衆消費社会とは一握りの金持ちの好みによりモノが作られ、消費されるのではなく、「豊かな社会」に生きる大衆が大きな購買力(モノを買う力)を持ち、大衆の好みによりモノが大量に生産される社会である。私たち(大衆)は日々の生活の中であれが欲しい、これが欲しいとモノを買っているが、それは果たして本当に欲しいモノなのか。</p> <p>私たちにあるモノを欲しいと思わせる消費のしくみや消費社会の成立、消費革命の進展を時代を追いながら見ていく。</p> <p>その際、手がかりとして</p> <ul style="list-style-type: none"> デパートを中心とした流行の創出 室内装飾、家具の販売による生活スタイルの商品化 食の変化 レジャーの広がり 等々の <p>具体的事例を出来るだけ見て生きたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と学期末の試験あるいはレポートの結果で評価。試験の場合はノート、プリント等参照可。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	
【開講期】前期	【担当者】明渡陽子・柳下登
<p>【授業目標】</p> <p>高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね Ⅱ, ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のテーマに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 人物研究 I〔和泉式部〕	
【開講期】 後期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪<small>の</small>乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 近藤みゆき 訳注『和泉式部日記』（角川文庫） 他に、プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫著 『冥き途—和泉式部伝—』世界文化社 清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2. 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3. 実体験と和歌表現 4. 恋歌と死の歌のあい 恋歌を超える眼差し 5. 実存のテーマと方法 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6. 歌集と日記 7. 仏教的心性の問題 8. 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ〔柳田國男〕	
【開講期】1・2年後期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】柳田（旧姓・松岡）國男（明治8年—昭和37年）は、貧しい医師の子として、兵庫県神崎郡福崎町で生まれた。大学を卒業してのち、彼はそれまで問題にもうけなかった民衆の生活と文化を調査・研究し、日本民俗学の基礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。</p>	
<p>【参考書】中村哲『柳田國男の思想』（法政大学出版局刊）・谷川健一『柳田國男の民俗学』（岩波新書）・鹿野政直『近代日本の民間学』（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p>	
<p>1. <u>生いたち</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸。 ・利根川畔・布川徳満寺繪馬の衝撃。-----経世済民の志 <p>2. <u>就学と詩人松岡國男</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊良湖岬への旅と島崎藤村「椰子の実」 <p>3. <u>民俗学の夜明け</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農政学から民俗学へ -----『後狩詞記』・『遠野物語』 <p>4. <u>官界から言論界へ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅と学問-----大正デモクラシーと民衆文化の発掘。 <p>5. <u>日本民俗学の確立</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『海上の道』-----壮大なる仮説-----日本民族の南方起源説。 <p>6. <u>まとめ</u>-----柳田の学問と思想は「近代」を超えることができる。</p>	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパー・テスト（資料プリント集・ノート・参考書等参照可）</p>	

【授業科目】 人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	
【開講期】 後期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしま・たけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見つめ、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。 自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。 アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。 ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。 日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
<p>【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>おおむね以下のような順序（最大限進んだ場合）を予定しているが、「予定」に縛られるのではなく、可能な限り諸君との（毎回提出の「ポイント・メモ」等を利用した）意見交換を重視しつつ臨機応変に展開し、問題意識が「盛り上がり」きたら、その部分に思い切って集中する等、途中で変更することもある（例えば昨年度は「1の②」に集中し、2～3は割愛した）。</p> <p>大切なことは「知識をまんべんなく獲得する」ことではなく、「有島武郎」という「具体的人物」の研究を通して、「人間」を考えることであり、以下は、その「様々な切り口」なのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ①「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ②「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ①「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ②キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ①芸術・思想・革命・自由 ②農場解放の理想と現実 ③恋愛と死 <p>◆ 授業中の「私語・内職・よそ見」等厳禁。 ◆ 「実習」や病気・不慮の事態以外は「一度も休まずに出席すること」が大切。 ◆ 「全身全霊で聞き、感じ取り、考えようとする態度」があれば大丈夫（無ければダメ）。 ◎ 「板書」はほとんどしない。「黒板写し型勉強」から脱却しよう。ノートすべきポイント等は授業中に指導するから大丈夫。真面目に出席して、（僕の指摘を受けつつ）ノートをしっかり取って聞いていれば、（予備知識が全く無くても）十分、分かるはずだ。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅰ〔心のしくみ〕	
【開講期】 前期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】</p> <p>心理学は、心に対してさまざまな方向からアプローチする学問である。この授業では心理学の各分野に関して、具体的で身近な例をあげて概説していく。日常生活の中で感じる心の不思議について考え、心のしくみへの理解を深めてもらいたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>齊藤勇 『イラストレート心理学入門』 誠信書房 菊池聡・谷口高士・宮元博章編著 『不思議現象なぜ信じるのか：こころの科学入門』 北大路書房 そのほか授業中に適宜指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理学の各分野に関して、資料、ビデオを用いて概説する。簡単な実験や実習も行う予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは 2. 知覚 3. 学習・記憶 4. 子どものこころの発達 5. 青年のこころの発達 6. 無意識と深層の心理 7. 性格と性格検査 8. 臨床心理学とカウンセリング 9. 社会心理学 10. こころに関する諸問題 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小レポート、期末筆記試験をもとに総合的に評価する</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ〔性格と人間関係〕	
【開講期】 前期	【担当者】 林 潔
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル <性格と人間関係></p> <p>心理学の領域では、性格心理学と社会心理学の一部にあたります。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろな人がいますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなんでしょか。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 性格は変わるか？ 2. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 精神分析の考え方の紹介です。 3. 「血液型と性格」はあたるの？ 4. 今日の性格についての考え方 体格と性格 内向／外向 心臓疾患と性格 ガンと性格 5. 「性格の問題」へのとりくみ 6. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	
【開講期】 1年後期	【担当者】 近藤正樹
<p>【授業目標】</p> <p>ヒトの体のしくみについて、構造と機能の両面から解説し、栄養・生殖・行動の法則性を要約する。全体の恒常性・協調性を演出する情報物質（ホルモンや溶解性物質）の濃度や神経（電極パルス）、個体間の交信情報のあり方（言語系交信 視覚系交信 化学物質交信など）にもふれて、「体」といわれる独立体が持つ総合性・統一性に一層関心をもってもらおう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用せず</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生命の最小単位が持っている不思議 細胞の構造と細胞内器官の構造——その役割 極限まで単純化された細胞——寄生に見られた退化のみちすじ、結晶体とまでいわれる生物「生物」の概念</p> <p>2. 体を構成している部品の構造と機能 栄養系器官の構造と機能——肥満と生長——老化 生殖系器官の構造と機能——性の分化と子孫繁栄 神経・筋の構造と機能——感覚と認知と行動</p> <p>3. 外界からのしげきとその受容 温度に対する体の反応——定温動物と変態生物 明るさに対する体の反応——前経験のわざわい、光周性と体内時計 受容器にも全体区と地方区がある だまされる受容器</p> <p>4. 異物侵入に対する防衛 異物をすてる 異物を分解する 異物を借用する 異物をとじこめる アレルギーと免疫 人体に有害な物質と濃度——人間はどこまで体をだませるか</p> <p>5. 生殖の不思議 細胞の若返り 卵の不思議・精子の不思議 性行動は本来備わっているものなのか 意志のいたずら</p> <p>6. 交信 言語 シンボルによる交信 表情 筋肉反応による交信 フェロモン 化学物質による交信</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持込不可のペーパーテストを行なう。一章ごとにまとめておく（復習）が大切</p>	

【授業科目】 生物の世界と人間	
【開講期】 前期	【担当者】 近藤正樹
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】 なし</p>	
<p>【参考書】 なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生物と無生物</p> <p style="padding-left: 2em;">気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元</p> <p style="padding-left: 2em;">①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化</p> <p style="padding-left: 2em;">②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類</p> <p style="padding-left: 2em;">分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p>【評価方法】 レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	
【開講期】 後 期	【担当者】 吉川 研二
【授業目標】 35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。 様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球 2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境 3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き 4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ 5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物 6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル 7. ふたつのエコ 環境倫理 	
【評価方法】 平常点＋期末筆記試験	

【授業科目】 生と死を考える	
【開講期】 前期	【担当者】 嶋根 久子
<p>【授業目標】</p> <p>人は自分の死ばかりでなく、近い人の死に直面したときにも、生きているという実感を一層強く持つといわれています。しかしながら、核家族化の進行や、寿命の飛躍的な伸び、加えて死を病院で迎えることが多くなった昨今、われわれは死を身近に体験する機会が非常に減少しています。したがって、この授業では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、さまざまな角度からしについて考えてみたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】『死ぬ瞬間』キューブラ・ロス著、読売新聞社、『生と死を考える』A・デーケン著、春秋社、『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『現代、死にふれて生きる』リフトン、有信社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 死を年代別に見る。</p> <p>①子供の死、②青年期の死、③壮年期の死、④高齢者の死</p> <p>2 死の諸相</p> <p>①病死、②事故死、③災害に於ける死、④自死、⑤自然死</p> <p>3 家族と看護、あるいは死の看取り。</p> <p>①死の諸相による家族への影響、②子供の死、③親の死、④高齢者の死、⑤配偶者の死</p> <p>4 死者の年代別にみた、残される家族の問題。</p> <p>①配偶者の死、②子供の死、③親の死</p> <p>5 死の受容の諸形態。</p> <p>①死にゆく人、②残された家族</p> <p>以上のテーマについて、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】 小さなレポートを4回、中間期（5月）と試験時期に本を読んでレポートを提出。それらを合計して評価する。</p>	

【授業科目】 人間の生と性	
【開講期】 1・2年 後期	【担当者】 関口久志
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー（社会的文化的性）や旧来の規範にとらわれて呪縛から逃れられない日本の性の現状を考え、80年代の市場経済万能論の台頭により消費目的化される性の問題から現代日本社会を照射することで、ジェンダーや規範を乗り越え、男女と性的マイノリティー（同性愛者、性同一性障害等）も含め自己の性的アイデンティティーを肯定的に受け止め、誰もが対等平等に、安全と安心のための行動選択ができる自己決定力を身につける性教育を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>村瀬幸浩著 「ニューセクソロジーノート」十学舎</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>関口久志他共著 「日本の男はどこに来て、どこへ行くのか」十学舎</p> <p>関口久志他共著 「ジェンダーフリー・性教育バッシングそこが知りたい50のQ&A」大月書店</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 性の疑問・悩みを出し合う。 2. 性の多様性、生物的性（セックス）とジェンダー、性的指向。 3. 性別役割論によってつくられてきた男らしさ女らしさと性的関係。 4. 現代若者の性行動を性感染症と人工妊娠中絶の増加等から考える。 5. 安心と安全の関係づくりを避妊と性感染予防から考える。 6. 男性優位の行為としてのレイプ、セクハラ、性的暴力を考える。 7. 買春と売春行為を考える。 8. 性的マイノリティーを通して、性の普遍性と多様性から現代社会を考える。 9. コミュニケーションとしての性を考える。 10. メディアとジェンダー形成、特に男性形成を考える。 11. 戦争文化とジェンダー形成を考える。 12. 講義のまとめ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席時数と毎回の意見・感想文 および 最終レポート</p>	

【授業科目】生活と健康	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など） 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 海外語学研修	
【開講期】 1年 2年 前期&夏期集中	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>3週間イギリスでホームステイしながら、現地の大学語学センターによる授業を受け、ナマの英語に触れながら、英語運用能力を高める。さらに、英語文化圏の生活に触れることによって英語という言葉の背後にある文化を吸収し、英語を総合的に理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業の柱は、8月5日成田出発—8月30日帰国の、イギリス滞在にある。 が、前期において、パスポートの取得から現地での生活に関する基礎講義、および簡単な英会話などを事前指導として5回行うことを含む。</p> <p>柱の部分の語学研修は、イギリスのリーズ市にあるリーズ。メトロポリタン大学語学センターが提供する研修(午前2コマの英語の授業)に3週間参加し、滞在はホームステイ。平日の午後はさまざまな課外授業が用意され、世界から集まってきている学生たちと、スポーツや映画鑑賞、町でのショッピングなどもできる。さらに、中世の趣を残したヨークという街や、文豪ブロンテ姉妹(「ジェーン・エア」「嵐が丘」などで有名)の暮らしたハワースなどへの遠足も実施する。</p> <p>大まかな日程は以下のようなスケジュールで、費用は47万円ちょっと、分割もできます。</p> <p>8月5日 成田出発(ブリティッシュ・エアウェイズを使用予定) ロンドン着 6日 ロンドン観光 7日 ロンドンから専用バスにてリーズへ 8日 ~ 26日 リーズにてホームステイ 語学研修 27日 リーズから専用バスにてロンドンへ 28日 ロンドン市内自由行動 29日 ロンドン・ヒースロー空港から帰国 30日 成田着</p> <p>担当の中島は全行程を同行します。この授業に参加することで外国語・応用英語の単位認定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地の評価を参考に、全行程の平常点、帰国後のレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 情報処理演習	
【開講期】 2年前期	【担当者】 宮武 直樹
<p>【授業目標】</p> <p>現代の情報化社会ではコンピュータが大きな役割を果たしています。この講座では、まずキーボードの使い方に慣れて文書作成ができるようにし、またいろいろなソフトウェアの使い方を通して、コンピュータについて理解を深め、情報化社会の中で積極的に活用するための技術と素養を養います。この授業では実際にコンピュータを使いながら学習を進めますので出席を重視します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考書、参考文献を授業で紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会とコンピュータシステムについて 2. Windows システムと操作方法 3. 日本語ワープロソフト (Microsoft Word) の基本操作 (3 級程度の文書作成) 4. 表や罫線を使う文章作成 (2 級程度の文書作成) 5. 図形や段組を使う文書作成 (1 級程度の文書作成) 6. 表計算ソフト (Microsoft Excel) の基本操作 7. データベースの作成と操作 8. ペイントによる図形描画法と小物作成 9. 電子メールの送受信 10. インターネットと情報検索 11. パワーポイントによるプレゼンテーションの作成 12. HTML の基礎と簡単なホームページの作成 13. 情報セキュリティと情報倫理、電子記録、電子署名について 14. まとめ 15. 定期試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出および出席状況などから評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話（基礎）	
【開講期】 2年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p>【授業目標】</p> <p>今まで学んできた英語を使ってみたことはありますか。外国の友達はいますか。英語を学んでも「英語はできない」「英語を使えない」と思っている人がいます。けれどそれは本当のことではなく、書く英語と話す英語は違うのだということを教えてくれなかった教科書英語がおかしかっただけなのです。</p> <p>正しい文法でコミュニケーションをとりながらも、自分の気持ちを正確に伝え、相手の気持ちを正確に受け止める力を身に付け、「英語ができる」「英語を使える」ようになることがこの授業の目標です。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>(例) ① My neighborhood ② How do you come to school? ③ Shopping in an American Shopping mall ④ Complaints department ⑤ My Dream Vacation</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 和英辞典・英和辞典（電子辞書・携帯電話を辞書として使用も可）</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は会話中心です。</p> <p>最初は決まった会話文の中に自分のことを取り入れるなどのシンプルなものです。</p> <p>どんどんサポートを減らしていき、自分で話します。</p> <p>前期・後期の英語のレベルは、それほど変わりません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>提出物、インタビューテスト、スキットの発表、その他</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話（応用）	
【開講期】 2年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p>【授業目標】</p> <p>大学で英語を学ぶと英語が楽しくなります。</p> <p>もっと会話をし、自分のこと、周りのこと、日本のことを外国のかたに伝えること、そして英語を話す外国のかたと楽しく交流できるようになること（例えば就職先に外国のかたが訪ねて来た時、パニックにならず平然とした態度で「can I help you?」と言えるようになること）が目標です。</p> <p>力を伸ばすためにはチャレンジが必要なので難しくなりますが、わざと難しくはしません。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>（講義を休んだ場合は学生同士でコピー等してください。）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 和英辞典・英和辞典（電子辞書使用も可）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>様々な応用英語をします。</p> <p>英会話（基礎）と同じプリントで、深く発展する場合があります。</p> <p>散歩（学外授業）をし、外の空気を吸いながら、周りの自然を英語で表現、説明します。</p> <p>ニュースを読み、自分の意見を述べます。</p> <p>歌を聴いたり歌ったりして、その意味を探ります。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>インタビューテスト、提出物、夏休みの課題、スキットを行う可能性もあり</p>	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	
【開講期】 前期 後期	【担当者】 村山知恵
<p>【授業目標】 フランス語を1年間学んだ学生も、フランス語が初めての学生にも、フランス語を学ぶ楽しみを味わってもらいたいです。フランス語は、今まで勉強してきた英語と同じアルファベットを使い、文法も非常に似ていながら、発音が全然違い、その文化や歴史、人々の考え方も大分違います。そんなことをフランス語を学びながら感じる事ができれば、居ながらにして外国の人と触れる喜びが広がると思います。</p>	
<p>【テキスト】 "Bienvenue en France I" (ビデオ教材) ビデオは大学にあります。 Hatier/Didier</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 仏和辞典</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>*はじめは発音練習 (プリントによって説明します) *次に教科書に入ります。 *授業の最初には必ずビデオ (10分ほど) を見ます。その内容を理解するように努めます。 *各課についている文法練習 (テープもついています) をします。 *各課についているフランス文化の紹介を読みます。 *最後に各課のビデオのストーリーを訳してみましよう。 *全部で13課ありますが、前期に6課、後期に残りを修了できるように努力します。 すべてフランス語で書かれているので、はじめは大変だと思うかもしれませんが、いつの間にか辞書を引くのが楽しくなるとよいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 前期後期ともレポートによって成績を評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	
【開講期】 2年前期・2年後期	【担当者】 濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間<文法編>」(朝日出版社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用した様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習——最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習——必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介——文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション——各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 <p>注：通常は「外国語ⅠⅡ ドイツ語」の続編として、自己表現に重点を置いたより発展的な学習を行うが、今年度に限り、上記の内容でドイツ語の基礎から始める。履修者の希望によっては、後期から会話表現の学習を交えることも可能。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 選取外国語(英文講読)	
【開講期】 通年	【担当者】 藤田久美子
<p>【授業目標】 様々な雑誌、新聞記事等から選んだ多彩なトピックで構成されているテキストを讀んでいく中で、さらに読解の力を付けていくことを目標としている。</p>	
<p>【テキスト】 (Read and Think About 20) 「Reading Communicator」 (Current Topics) (三修社)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>このクラスは 4年制大学への編入希望の学生を対象とするクラスである。</p> <p>クラスでは、上記テキストを主に使いつつ、英文を讀んでいく訓練を積み重ね、その内にだんだんに読解の作業に慣れ、また、多少早く、容易に理解(していくこと)出来るようにしたいと思っている。</p> <p>文章を讀むといふことは、その間「頭」と想像力を使っているといふことである。その文章が英語で書かれたものであれば、そこにさらに「英語の構文」といふ条件が加わるので、さらに難しく感じるものは致し方のないところである。そこで十分な予習を行ふ方が必要が出てくる。出席者はよく調べ考えながら十分予習をし、分が分かったところは自分でチェックして授業に臨んでほしい。</p> <p>授業は言及してもいいし、あるいは内容についてのこぼれ話の質問に答えなくてもいいし、さらには進めていっていい。</p> <p>その他 読むに価値があると思われるニュース記事などをコピーして配り、讀んでみる機会も持たせたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】 出席状況、平常の練習問題の結果、また、学期末のテストの結果を総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	
【開講期】 前期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. ビジネスに必要な英語とは何かを理解する 2. 実際にビジネスの世界で使われている英語を学ぶ 3. 実際にビジネス英語を使ってみる	
【テキスト】 必要に応じて紹介する	
【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. ビジネスの世界について基本的な理解をする 2. ビジネスの世界で使われている英語とは何かを理解する 3. 新聞や雑誌の中から、ビジネスに関わる英文を取り上げて読む。 4. ビジネスに関わる英語の語彙を増やす。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	
【開講期】 1年 2年 後期	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>授業期間内では難しいかもしれないが、いずれ Time や News Week といった英語雑誌が読めるようになるように、その基礎を培う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>向山淳子「ビッグ・ファット・キャットの世界一簡単な英語の本」幻冬社 2001年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の2時間で英文を読むのに必要な基本文法（難しいと思わないでね）を説明します。その際に「ビッグ・ファット・キャットの世界一簡単な英語の本」の方法を準用するので、受講する学生は事前に読んでおいてもらおうと分かりやすいと思います。</p> <p>最初は簡単な文から読んでいこう。英文を読むにはコツがあります。そのコツさえマスターしてしまえば、あとは語彙（単語量）です。語彙を増やすには、毎日こつこつと読みながら辞書を引いていきます。大変そうに思えますが、なれてくれば、必ずや楽しくなり、そして、読めるようになるのです。</p> <p>ある程度、文に慣れてきたら、いよいよ Time か News Week に挑戦してみましょう。ニュースを読めるようにするには、そのニュースを日本語で知ってしまうのが一番です。したがって、この授業では、世界のニュースを確認しながら英文に挑戦していきます。</p> <p>この授業を通して、世界通になり、英語通になってください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回単語のチェックを行います。その積み上げと平常点、出席点で評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 言語とコミュニケーション	
【開講期】 前期	【担当者】 佐々加代子
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』犀書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。『言語習得と人間関係』『子どもからの贈りもの』『発達臨床相談』</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離－信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者によるコミュニケーション関係 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと ここでの1～8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「わたし」と他者 2) 視点と語り手 3) 語り手の言語と無意識 4) 表現か内容か 5) 小説世界内とプロット 6) 小説の蓋然性 7) 作者の死 8) 読者・印象批評 9) 読みのあれこれ 10) 人生とフィクション 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

[授業科目名] 造形美術とイマジネーション	
[開講期] 後 期	[担当者] 八木 紘一郎
<p>[授業目標]</p> <p>この授業では、造形美術の中でも、特に日頃見慣れている生活の中の身近な造形美術をとりあげ、それらの造形美術に込められた意味をイマジネーションをめぐらせて解説していく。身近なところの造形美術を通して、人間にとって、実は目に見えるモノゴト(造形美術)は見えないモノゴトをイマジネーションする方法として存在する関係性と意味を掘り下げる。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1) 太古の歴史をさかのぼると、人の彫塑は、実は女性像だけが造られていた。なぜ、男性像は作成されていないのか、なぜ、女性像がはじめに造られたのか？何の目的で誰が造ったのかなどを実際の女性像の数々を見ながら考える。</p> <p>2) ミニチュアのキャラクター人形の世界を取り上げて考える。</p> <p>① 暮らしの中に置かれてきた「招き猫」をとりあげ、その造形美術を通して考える。右手を挙げている意味、左手を挙げている意味などを考える。</p> <p>② リカちゃん人形など「かわいい人形」を例にあげて人気の秘密、意味などについて考える。</p> <p>③ 「箱庭療法」で使われるミニチュアの造形美術世界の意味を考える。</p> <p>3) 異界の造形美術とイマジネーション</p> <p>① 多様に描かれ作られた妖精・妖怪・鬼・魔物など異界の生き物の造形美術をとりあげ、人はなぜそのような造形美術を創作したのかをイマジネーションする。</p> <p>② 異界の生き物の居住する場としての神殿や寺院等の造形美術を考える。</p> <p>③ 今は、スポーツとして扱われている、国技の相撲「横綱」のしめ縄と神社のしめ縄の関連、土俵入りの姿やしこを踏むなどの様相のひとつひとつに見られる異界とのコミュニケーションを考える。</p> <p>④ 独楽、凧あげなど伝承遊びと言われる昔遊びに見られる異界との関わり</p> <p>4) サンタ学～クリスマス関連の造形美術を考える～なぜ、サンタの服は赤いのか？サンタ誕生の地、起源、ツリー、丸太の形のケーキ、リースの形状などの意味を考える。</p> <p>5) 白と黒のイマジネーション。白地に描く東洋、黒地に描く西洋。どうして？など</p> <p>6) 図記号とイマジネーション</p> <p>身近な暮らしの中にある様々な図記号を解説しながら伝達デザインの諸相を考える。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p style="text-align: center;">平常点</p>	

【授業科目】話し言葉の伝承	
【開講期】1・2年前期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち話し言葉によって、語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。 日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例とし、大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。</p>	
<p>【テキスト】資料プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】東喜望著『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>序</u> (1)わが国をニッポンというのはなぜか。 (2)国号と環太平洋の太陽神話 2. 「<u>神話</u>」・「<u>伝説</u>」・「<u>昔話</u>」とは何か。 3. <u>説話伝承の起源</u> <ol style="list-style-type: none"> (1)自然と人間の意識 (2)信仰と「語り」—個人・村落レベルから国家レベルへ。 (3)神話の発展—伝説・昔話へ。 4. <u>伝承文芸の現代的意義</u> 	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)</p>	

【授業科目】	絵本・絵巻と物語表現
【開講期】	前期
【担当者】	久保木 寿子
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・表現の枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に 2. 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3. お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に 4. 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に 5. 紙芝居 6. アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵の視座・物語の視座 2. 絵の空間表現・物語の空間表現 3. 絵の時間表現・物語の時間表現 4. 見、聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2. ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2. 絵・ことばの響き合いについて <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業ではありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】	源氏物語の世界	
【開講期】	後期	【担当者】 久保木 寿子
【授業目標】	<p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。</p> <p>一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
【テキスト】	プリントを配布	
【参考書】	<p>大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメ・映画その他のビデオ</p> <p style="text-align: right;">授業時に指示</p>	
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2. 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3. 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4. 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③女三の宮 を中心に、それぞれの人物像を探っていく。 5. 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が「天皇のような そうでもないような」地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとって、いったい何が重要なことなのか、考えたい。 6. 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7. 源氏物語の笑いについて考える。 8. 物語表現の美しさについて考える。 9. 源氏物語の古代性と現代性について考える。 		
【評価方法】	出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。	

【授業科目】 近現代の日本文学	
【開講期】 前期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学作品など読むヒマにもっと役に立つことないの？ ・ 作家なんてホントはなにしてるんだろ。 ・ 文学史なんてのやらされてアタシタチメイワクなだけ！ ・ でも基礎知識くらいは仕方ないカモね。 	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で紹介します。</p> <p>予習読書は強制しません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(内容)</p> <p>上記のように、「文学入門」的なねらいを含んだ文学理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作家と社会－社会に対応する作家の姿勢、文学的展開。 2 作家と時代性－作家や作品を社会の流れと照らして位置付けしてゆく試み。 <p>以上2点を踏まえて、以下の展開にする予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 テーマ、課題による読み解き。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開化と西洋（鷗外、漱石、荷風、光太郎） (2) 個人、エゴ、ヒューマニズム（漱石、白樺、龍之介） (3) 制度と人間（啄木、武郎） (4) 自然と人間（独歩、武郎、賢治） (5) 愛と人間苦（武郎、太宰治） (6) 伝統と近代（康成） (7) 戦争と人間（峠三吉他） (8) 疎外と人間（石牟礼道子） <p>（なお、時間の都合で省略もあり得ます）</p> 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート評価の予定</p>	

【授業科目】庶民の生活文化	
【開講期】後期	【担当者】高橋徹
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父・祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の、日本人の生活の歴史を理解することと、それをふまえて、みなさんが自分自身の現在の生活について考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>加藤秀俊『暮らしの世相史』（中公新書、2002年）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業では、生活文化といっても「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、歴史をたどりながら、テーマごとに古い映画や関連するドラマの一部分、ドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。上記の「参考書」は、直接授業では使いませんが、夏休みの間にでも読んでおかれると、この授業の理解が深まるでしょう。</p> <p>テーマには、次のようなものを予定しています（資料の関係で変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 時代と世代…生活史をつくる (2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本 (3) 第二次世界大戦の時代 (4) 戦後復興と闇市 (5) 戦後民主主義と女性 (6) 太陽族と「新しい」若者文化 (7) 家電製品の普及 (8) 高度経済成長時代のサラリーマン (9) 東京オリンピックがもたらしたもの (10) ビートルズ現象 (11) 旅行の時代 (12) 歌謡曲で聞く昭和 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポートと、期末のレポートを合わせて評価する予定です</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	
【開講期】 前期	【担当者】 先川 直子
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものを中心に、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店）</p> <p>小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷— 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴— 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C—家電製品の普及— インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション— ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ— 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか— 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】現代英米の文学	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。文学作品の読み方を学びながら、英米文学の特徴を理解することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』 イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』 イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
【テキスト】 授業の中で指示する	
【参考書】 「英米児童文学の系譜」 こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 1) 「アラビアンナイト：アラジン」 (アラビア) 2) 「秘密の花園」 (イギリス) 3) 「オズの魔法使い」 (アメリカ) 4) 「美女と野獣」 (フランス) 5) 「モモ」 (ドイツ)	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点 (出欠、予習、質問、意見発表など) とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 比較文化論・近代文明と日本人	
【開講期】 後期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。 ・ 日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。 <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の近代化と西洋 ー価値観についての基本理解ー <ol style="list-style-type: none"> (1) 文明の先進と後発 (2) 新旧混乱期の実情 (3) キリスト教、儒教、武士道 (4) 文学者の西欧体験 2. 近代的な考え方へのアプローチ <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人、人格、エゴ (2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁 3. 自然と人間と近代 ー価値観についての展開ー <ol style="list-style-type: none"> (1) 西洋の自然 (2) 東洋の自然 (3) 日本の自然 (4) 自然と人間へのヒント 4. 自然科学と人間 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然科学をどのように考えるか (2) 自然科学と制度 (3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」 (4) 戦争 5. 現代社会と人間疎外 ー水俣病をめぐるー <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>	

【授業科目】 <u>国境を越える民俗学</u>	
【開講期】1・2年前期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。彼らの多くは、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業ではそんな民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のありよう、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、中国や東南アジアや日本の「国境を越えて」生きた人々の生活を重視する。</p>	
<p>【テキスト】資料プリントを配布する。</p> <p>映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。</p> <p>【参考書】適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「伝承」・「民俗」とは何が。 2. 西歐民俗学・日本民俗学の発生と展開 3. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活) <ol style="list-style-type: none"> (1) 山人——日本の山人(マダギ・サンカなど)・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)・ユーラシア大陸の遊牧民 (2) 海人——日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など) 4. 原初の定住生活——日本・アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。 5. ムラの形成とその基本構造 6. 村落祭祀と通過儀礼 7. 民俗社会をつなぐ「^ツ結い」 	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	
【開講期】 前 期	【担当者】 武 藤 健 一
<p>【授業目標】</p> <p>2年後・1年後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">レ ジ ュ メ 配 布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山田 昌弘 「パラサイト・シングル時代」(ちくま新書) 伊田 広行 「シングル化する日本」(洋泉社 新書)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会は今急速に変化していっています。 そこで、女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働または恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>上記のどちらを取り上げるかは、他の授業の内容などを見て決定します。</p> <p>具体的には女性労働では、 ① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、 ⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によりますが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。 また、下記にあるように、平常点重視なので、学生にとって負担の大きい授業です。安易に単位取得を目的に受講しても、単位取得は不可能です。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(10・15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点+平常点：学期末試験(形式未定)=2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち（日本国憲法）	
【開講期】 1年・2年 前期・後期	【担当者】 清水 雅彦
【授業目標】 1. 常日頃から社会問題に関心を持つようにさせる。 2. 法的な基本的発想ができるようにさせる。 3. 憲法の規定を正しく解釈し、理解させる。 4. 人権感覚や法的倫理観を身につけさせる。 5. 身の回りの問題について、自分で解決する勇気を持たせる。	
【テキスト】 『デイリー六法』三省堂	
【参考書】 播磨信義ほか編著『新・どうなっている!? 日本国憲法』法律文化社	
授 業 計 画	
1. 法・憲法とは何か (1) 新聞を読む～身の回りにどれだけ憲法問題があるか (2) 法の歴史～痴漢への対処法から人権の歴史を考える 2. 人権規定 (1) 人権の基本原則と制約原則～なぜ電車内で携帯電話はいけないの？ (2) 人身の自由～交通違反から警察との対処法を考える (3) 幸福追求権～プライバシー権や肖像権は憲法に書いていないけど (4) 法の下での平等～「バカチョンカメラ」と言ってはいけない話 (5) 信教の自由～輸血拒否事件、地下鉄サリン事件、靖国問題…… (6) 表現の自由～危ないシャンプーvs知る権利、わいせつ表現vs表現の自由 (7) 思想・良心・学問の自由～学生も学校では主人公！ (8) 女性の権利～中絶すると女性は犯罪者!? (9) 生存権～将来、低所得者は病院に行けなくなる!? (10) 教育を受ける権利～個人を尊重する教育理念と現実 (11) 労働基本権～将来、会社人間にならないために 3. 統治規定 (1) 主権～天皇制と国民主権との関係 (2) 平和主義～憲法の定める平和主義の理念と現実 (3) 国会～選挙に行く前に知っておきたいこと (4) 内閣～議院内閣制と大統領制の違い (5) 裁判所～ドイツとの比較から日本の裁判を考える (6) 財政・地方自治～憲法でどのように規定されているか (7) 憲法の保障・憲法の改正～憲法を守れない人は公務員になれない!?	
【評価方法】 授業の出席と期末試験	

【授業科目】 日本とアジアの近現代史	
【開講期】 後期	【担当者】 佐藤いづみ
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代史は、その歩みを始めたときから、アジアとの大きな関わりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本人のまなざしに注目しながら、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>講義中に紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「学問のすすめ」から福沢の思想の根幹を読み取りつつ、「脱亜論」に展開された中国観、朝鮮観ともに、台湾論に注目 * 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がヴェトナムに広げた波紋とその行方 * 関東大震災時の朝鮮人虐殺・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力について、80周年の出版から学ぶ * 台湾の霧社事件・・・台湾でのドラマ化に見る、日本による台湾植民地化 * 満州国建設と中国残留孤児・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国人 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】 社会福祉の考え方	
【開講期】 後期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「はじめての社会保障」(棕野美智子・田中耕太郎著、有斐閣アルマ)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性</p> <p>II 社会福祉の成立の背景</p> <p>III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度</p> <p>IV 21世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題</p> <p>V まとめ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	
【開講期】1年 前期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」・「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施、男女共同参画社会基本法の制定など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験かレポートにするか現時点では未定。他に平常時の提出物、出席状況を加えた総合評価。</p>	

【授業科目】現代世界とマイノリティー	
【開講期】1年 2年 後期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティー（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティーが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティーが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティー問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティー）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティー問題を多く抱えている。ネイティヴ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティー問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティーとは 帝国主義と植民地の遺産 民族紛争 人種の垣塙からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティー アメリカ黒人の歴史 ネイティヴ・アメリカン ユダヤ人 アジア系アメリカ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】女性労働の問題	
【開講期】 後期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 近代日本における女性労働の歩み 2、 女性労働の現状と課題 3、 女性労働と法 4、 女性労働の国際比較 5、 家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】	地域生活と家族	
【開講期】	後期	【担当者】 民秋 言
【授業目標】	<p>私たちが人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きくかかわっている。</p>	
【テキスト】	講義の中で必要に応じて指示する	
【参考書】	同 上	
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のほたらき(機能) 3. 家族のなかの人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 祖父母関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなかに生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 		
【評価方法】	ペーパーテストと出席点による	

專門教育科目（2年）

【授業科目】 障害児・者福祉論	
【開講期】 2年 前期	【担当者】 友田 篤
<p>【授業目標】</p> <p>障害者福祉の基本理念や障害をどう理解するか、障害者問題の歴史、福祉サービスの内容、さらに変動する福祉改革の流れなどを総括的に学習し、実践現場の紹介を豊富に交えながら、障害児者への実際的な支援の理解を深める。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>障害者福祉論 介護福祉士養成講座 中央法規出版</p>	
<p>【参考書】</p> <p>ぼく、このままでいい？ 小原瑞穂 祥伝社 障害者問題の基礎知識 石渡和実 明石書店</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者福祉の基本的な考え方（福祉改革含め） 2. 障害とは何か。（国際的な新しい理解） 3. 障害者の実態と多様な福祉ニーズ 4. 障害者福祉の歴史 5. 施策の体系 6. 障害者への福祉サービスの展開 7. 障害者福祉に関連する分野 8. さまざまな障害者の現状と課題 9. 福祉改革と社会福祉法 10. 社会福祉施設での援助の実際 <p>以上の他、随時内容を調整しながらビデオやスライドも活用し授業を進める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートおよび、出席状況と授業態度で評価。</p>	

【授業科目】 社会福祉援助技術	
【開講期】 前期	【担当者】 鳥羽 信行
【授業目標】 介護福祉士が対象者を援助していくうえでの、傾聴・受容・共感などの社会福祉援助技術の基本的な知識を理解し、実践現場で活用できることを目標とする	
【テキスト】 小田兼三責任編集 最新介護福祉全書⑤ 社会福祉援助技術 メヂカルフレンド社	
【参考書】 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士の業務と社会福祉援助技術 2. 社会福祉援助技術の定義と体系 3. 社会福祉の専門職と専門性 4. 個別援助技術の定義と原則 5. 個別援助技術の展開過程と手段 6. 集団援助技術の定義と原則 7. 集団援助技術の展開過程 8. 地域福祉の理念 9. 地域福祉援助の基本 10. ケアマネジメント 11. スーパービジョンとコンサルテーション 12. 社会福祉調査 13. その他の間接援助技術 14. 事例研究Ⅰ 15. 事例研究Ⅱ 	
【評価方法】 出席状況、授業態度などの平常点、小テスト・レポート・定期試験の結果による総合評価	

【授業科目】 社会福祉援助技術演習	
【開講期】 後期	【担当者】 鳥羽 信行
【授業目標】 この演習では、介護福祉士にとっての自己理解と対象者理解の重要性について、それぞれのテーマに基づいてグループ討議およびビデオ鑑賞をもとに学習を進め、特に対象者を理解していく視点を養うことを目標とする。	
【テキスト】 前期のテキストを使用する。	
【参考書】 	
授 業 計 画	
1. 自己理解と対象者理解の重要性とその方法 2. 援助者としての自己理解(I) 3. 援助者としての自己理解(II) 4. 援助者としての自己理解(III) 5. 対象者理解の視点の形成(I) 6. 対象者理解の視点の形成(II) 7. ～14. ビデオ「映像でつづる昭和の記録」(NHKビデオセンター1988) 鑑賞とグループ討議 15. 演習のまとめ	
【評価方法】 出席状況、授業態度などの平常点、レポート・定期試験の結果による総合評価	

【授業科目】 家政学実習 I (栄養・調理)	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 風見 公子
【授業目標】 1. 障害者（児）や高齢者の食事に関する援助の基本的な方法について実習によって学ばせる。 2. 施設実習などで経験した食事介助のあり方、食品衛生の管理の方法を実習と関連させながら理解させる。	
【テキスト】 ① 教師作成のプリント ② 足立己幸 著 「主食 主菜 副菜料理成分表」 群羊社	
【参考書】 参考書は授業の中で、適宜、紹介する。	
授 業 計 画	
1. 基本的な調理操作、及び調理器具の扱い方を日常の家庭料理の実習を通じて学ぶ。 2. 献立作成・栄養価計算 自分の食事記録及び、その診断によって望ましい食事構成のあり方を学ぶ。また、実際に献立作成したもので調理実習も行う。 3. 障害者（児）・高齢者にとって望ましい食事を、主に食物形態の変化を中心に実習し学ぶ。 4. 障害者（児）・高齢者の食行動を理解する為の実習を行う。また、実際的な食事の援助方法を学ぶ。加えて、衛生管理を行う。 5. 嗜好調査の方法と分析方法を演習する。	
【評価方法】 課題レポート及び出席状況、小テスト	

【授業科目】 家政学実習Ⅱ（被服・住居）	被服＝引地、住居＝大高
【開講期】 2年 前期＝引地、後期＝大高	【担当者】 引地 和枝・大高真紀子
【授業目標】 ≪引地≫ 被服生活の管理に関する技術を通して習得させ、かつ高齢者や障害者の家庭生活の管理に必要な実践的な経営能力を培わせる。 ≪大高≫ 私たちの日常生活の基盤であり、拠り所である住居について、住生活と生活空間、室内環境、住居の維持管理などについての基本的な考え方を学んでいく。さらに高齢者や障害者と住居について福祉住環境整備という視点から理解を深め、実践力を養うことを目的とする。	
【テキスト】 ≪引地・大高≫ 佐々井啓編 「家政学実習ノート」 誠信書房	
【参考書】 ≪引地≫ 大谷陽子編「家政学実習」建帛社 ≪大高≫ 後藤久 他「基礎シリーズ 住居学入門」実教出版 大野隆司他「福祉住環境」市ヶ谷出版社	
授 業 計 画	
≪引地≫ A. 介護のための被服の選択 体型の特徴、計測法（高齢者の体型） B. 被服製作に必要な知識 用具、基礎縫い、小物の製作実習 C. 被服素材の特徴および繊維鑑別の実習 素材表示に示されている繊維の簡単な見分け方の実習 D. 被服管理実習、繊維製品の表示 洗濯、しみ抜き、仕上げ、保管その他 E. 高齢者や障害者のための被服デザイン・構成及び着脱の工夫、体型・障害の例による使いやすい被服の検討を考える。 ≪大高≫ 1. 住まいと生活 ・住まいの役割 ・ライフサイクルと住要求 ・地域生活と住居 2. まいの計画 ・生活行動と生活空間 ・生活ゾーンの意味と役割 ・住宅の構法・関連法規 ・図面の読み方 ・平面図の描き方 3. 適な室内環境 ・採光と照明 ・室温と湿度 ・通風と換気 ・音 4. 住居の維持管理 ・住まいの維持管理 ・災害や事故に対する備え 5. 高齢者・障害者と住生活 ・福祉住環境整備の基本的な考え方 ・住宅改修事例の検討 ・高齢者の居住形態	
【評価方法】 ≪引地≫ 作品レポートその他、出席状況などで、総合的に評価する。 ≪大高≫ 出席・授業への取り組み、設計課題、レポート課題等により、総合的に評価する。	

【授業科目】 医学一般Ⅲ	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. わが国の保健・医療・福祉の歴史と現状対策の理解をはかる。 2. 医療法制度の概要の理解。 3. 医療関係者とのスムーズな連携のために--- 医療・福祉現場で必要とされ、理解していたほうが better な知識の習得。 4. 介護福祉士自身の健康増進・管理法の習得。 	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康の概念とわが国の健康水準 2) 公衆衛生の動向 <ol style="list-style-type: none"> ①人口統計 ②疾病と受療状況 ③医療関係者の現状 ④医療施設の現状 ⑤医療保障制度 3) 保健医療対策の概要 <ol style="list-style-type: none"> ①老人保健対策 ②精神保健対策 ③生活習慣病対策 ④母子保健対策など 4) 健康増進施策 一食生活と栄養・運動・喫煙・アルコール・ 5) 健康増進と生活習慣病などの疾病予防法 休養とストレス 2. 医事法制の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療法 2) 医師法 3) 保健婦助産婦看護婦法 3. <ol style="list-style-type: none"> 1) カルテ（医療情報提書）の読み方 2) “薬（処方箋）”の中身の調べ方と重要な薬の副作用の理解 3) 主な検査データの読み方（血算・生化学・尿） 4) 入所者の全身状態の把握の仕方 5) 入所者の緊急状態の把握の仕方と救急処置 4. 介護士自身の健康管理法介護士が職務上注意すべき疾患とその予防法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康の原則 2) 健康増進と生活習慣病などの疾病予防法 3) 注意すべき疾患とその予防法 腰痛症（ヘルニア・坐骨神経症・脊柱官狭窄症・すべり症など） 手足のしびれ 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席点と筆記試験</p>	

【授業科目】 形態別介護技術Ⅲ（知的障害・精神障害）	
【開講期】 2年前期	【担当者】 鳥谷 ツグヨ
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、知的障害者、精神障害者等の暮らしや、思いについて理解する。 2、知的障害、精神障害者の支援システム、援助技術について理解する。 3、精神保健福祉の歴史と動き／介護福祉士に期待されていること 4、介護福祉士の援助技術を考える。 5、障害者を取りまく社会資源について理解し、連携のありかたを理解する。 6、家族の思いや、支援について考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>中央法規 形態別介護技術(一年に同じ)</p>	
<p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全家連 「こころの病 私たち 100人の体験」 ② 松浦幸子 [不思議なレストラン]教育資料出版 ③ 古河奈津子 [心を病むってどんなこと]ぶどう社 ④ 安田睦夫 「いきる ぼけてもいいとね」けやき出版 	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、障害者の介護 事前に障害者関連施設の見学訪問（ボランティア）をおこない、各自がレポートしたものを発表しあい、精神障害について考える。こころを病むという体験を事例をとうしてかんがえる。精神障害者の知療の歴史をたどり、介護に課せられた生活支援の役割について、考察をふかめる。あわせて地域にどのような社会資源があるかを考える。 2、知的障害者の介護 今までに出会った障害者との思いをふりかえる。 事例をとうし障害者の地域や施設での暮らしを理解する。 障害をもちながら地域でいきいきとくらす条件を整えるための、援助技術や、システムについてかんがえる。 3、高齢障害者の在宅での介護 高齢者の特徴を知り、高齢者精神障害、高齢知的障害におかれた人々のニーズについて事例をとうして学び援助のありかたを考える。 4、地域の回復者のメッセージをうかがう 見学 ビデオ 事例 当事者の授業への参加 3分間スピーチなどを活用し知的障害、精神障害者のニーズと、そのケアについて体験的に学習する。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、レポート 授業態度 筆記試験などをもとにおこなう</p>	

【授業科目】形態別介護技術Ⅳ（視覚障害）	
【開講期】 2年 前期	【担当者】立花明彦
<p>【授業目標】 視覚障害といっても、障害の程度（見え方）、障害の発生原因とその時期、今後の進行予測など個人によって様々である。いずれにしても、日常生活において受ける影響は大きくその克服は容易ではない。本講義は、その障害を克服して社会的に自立するために必要な援助について学習する。</p>	
<p>【テキスト】 改訂新版 視覚障害者の介護技術—介護福祉士のために— 点訳のしおり</p>	
<p>【参考書】 必要に応じてその都度紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 視覚障害に関連する医学的知識として、目の構造と機能、視覚障害の原因となる疾病、保有感覚の働きと活用などの基礎的な知識を学習する。 (2) 厚生労働省による身体障害児・者実態調査を参考資料とし、視覚障害児・者の統計的動向を理解する。 (3) 視覚障害児・者の教育、職業、リハビリテーション、ユニバーサルデザインの現状を理解する。 (4) 視覚障害者とのコミュニケーションの一つとして、点字の基礎的な知識・技能を学習する。 	
<p>【評価方法】 出席状況、平常点（学習態度）、筆記試験</p>	

【担当科目】 介 護 実 習 Ⅲ	
【開講期】 2 年 前 期	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
<p>【授業目標】</p> <p>1. 実習第Ⅲ期（総合実習）</p> <p>（1）受持ち利用者の介護計画を立案、実施、評価し利用者理解を深める。</p> <p>（2）夜勤などの変則勤務を体験し利用者の24時間の生活を理解する。</p> <p>（3）介護福祉士としての自己覚知をもち、自己の介護観を述べるができる。</p> <p>（4）第Ⅲ期終了後に受け持ち利用者の介護過程をまとめレポートにする。</p> <p>2. 在宅における利用者の実態を知り介護上のニーズを把握しそれに応じた介護の実際を学ぶ。 ホームヘルパーの機能と役割、業務内容、地域福祉活動との関連を理解する</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p style="text-align: center;">実 習 計 画</p>	
<p>【第Ⅲ期介護実習】</p> <p>1. 介護計画の立案、実施、評価の方法を習得する。</p> <p>1) 受け持ち利用者の全体像を把握し課題を明確にしたうえで介護計画を作成する。</p> <p>2) 介護計画の内容については実習指導者の助言を得た後に実践する。</p> <p>3) 実践を評価考察し所定の記録用紙に記録する。計画の修正が必要な場合には実習指導者のスーパービジョンを受けて実践し評価する。</p> <p>2. 夜勤実習 利用者の24時間の生活援助を経験する。</p> <p>3. 介護福祉士としての資質、適性を身につける</p> <p>1) 実習を通して介護者としてのあり方、援助の内容を分析し介護福祉士としての自己覚知を深める。</p> <p>2) 自己の介護観を明確にする。</p> <p>実習期間 平成16年9月6日から10月1日までの20日間 実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p> <p>【在宅介護実習】 在宅介護実習は前期の実習指導Ⅱにてオリエンテーションを行う。在宅介護実習は空き時間を活用して段階的に体験する。詳細については別途指示する。</p> <p>1. 学内オリエンテーション（4月）</p> <p>2. 事前現場オリエンテーション（5月）</p> <p>3. 訪問介護実習（6～7月にかけて1～2日間実習）</p> <p>4. 学内報告会（7月上旬）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【担当科目】 実 習 指 導 II	
【開講期】 2 年 前 期	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
【授業目標】 (1) 介護福祉専門職としての自己覚知を深め、専門職に求められる資質技能及び自己に求められる課題把握など、総合能力を修得する。 (2) 介護実習を通じて得られた知識・技術、態度を実際的に応用する能力を修得する。 (3) 個別介護計画を立てて実施し評価する方法を学ぶ。 (4) 在宅介護実習の意義と実際について総括的に学ぶ。	
【テキスト】 <p style="text-align: center;">実習要項他</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. 介護実習第Ⅱ期のまとめ。介護実習第Ⅲ期の準備を行う。 介護実習第Ⅱ期のスーパービジョン及び第Ⅲ期実習に向けての演習並びにグループ討議を行う。 1) 介護実習第Ⅱ期後のスーパービジョン、個別面接。 2) 介護実習第Ⅲ期 配属施設の決定。 3) 受け持ち利用者の情報収集、アセスメント、援助課題発見と分析方法の演習。 4) 介護計画の立案、実施、評価方法について学ぶ。</p> <p>2. 在宅介護実習の事前学習、オリエンテーション、事後反省会を実施し総括学習を行う。</p> <p>(介護実習第Ⅲ期) 実習期間 平成16年9月6日から10月1日までの20日間 実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	

【担当科目】 実 習 指 導 Ⅲ	
【開講期】 2 年 後 期	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・落海文子・馬場和加子
【授業目標】 (1) 介護福祉専門職としての自己覚知を深め、専門職に求められる資質技能及び自己の学習課題把握など、総合能力を修得する。 (2) 介護実習第Ⅲ期で実施したケアプランのまとめを行い自己の介護実践をふりかえる。 (3) 個別介護計画を実施し評価する方法を学ぶ。介護事例検討会を行う。	
【テキスト】 実習要項他	
【参考書】	
授 業 計 画	
1. 介護実習第Ⅲ期 実習期間 平成16年9月6日から10月1日までの20日間 実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。 2. 実習終了後 1) 第Ⅲ期介護実習のまとめ、介護実践をふりかえり実施したケアプランを自己評価する。 2) 受け持ち利用者のケーススタディ・レポートを作成する。 3) グループ単位で事例検討会を行う。 4) 1. 2年生合同で事例検討発表会を行う。(平成16年12月18日(土)予定)	
【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	

【授業科目】 卒業研究ゼミナール	
【開講期】 2年 前期・後期	【担当者】 明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <p>I: 福祉施設や医療現場で使用される医療機器の理解 II: 介護実習の症例検討: 医学的視点を加えて III: 医療と福祉の接点に関連する本や雑誌の輪読と新聞記事などから up-to-date な記事を選び議論する</p>	
<p>【テキスト】</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I: 福祉施設に入所している高齢者や在宅高齢者の多くは、介護面からのケアと同時に医療的処置を必要としている場合が多い。このような高齢者に、質の高い医療・福祉を提供するためには医療スタッフ以外の介護職も基本的な医療機器の知識をもつことは、緊急時などに医療スタッフと共に協力して高齢者に対処することができるし、介護福祉士の自信にも繋がる。また、将来これらの知識を持つ事を公に要求される時期がくることも予想される。よって、その機器がどのような機器でその機器を使用する目的(どういう状況の時に使用するか)は何か、などの理解をめざす。学生同志でお互いに測定し合う・それらを装着して体験を試みる。</p> <p>具体的には、</p> <p style="padding-left: 40px;">尿道カテーテル(バルーン) 点滴セット・IVH とは? ストマ・酸素マスク・酸素ボンベの見方や管理の仕方・痰吸引機の取り扱い方 血圧計・心電図・体温計の原理や使用方法 など</p> <p>II: 介護実習 III 期で担当した症例を一人ずつ報告してもらい、質疑応答しながら医学的視点から再検討を加え、より良い介護をめざす。</p> <p>III: 本や雑誌・新聞などから up-to-date な医療と福祉の接点に関連する話題を選び分担を決めて報告し合い、担当者の内容説明を中心にして、皆で discussion し理解を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="padding-left: 40px;">出席点・授業姿勢・レポートなど</p>	

【担当科目】 卒業研究ゼミナール	
【開講期】 2 年 前 ・ 後 期	【担当者】 関谷榮子
【授業目標】 1. 地域で生活する障害者や高齢者の実態を学び、介護援助の課題を考える。 2. 学生自身の問題意識を尊重し体験学習を通じて自主的・実践的に学ぶ能力を養う。	
【テキスト】	
【参考書】 ゼミナールの中で紹介する。各自で探して報告する。	
授 業 計 画	
<p>○要介護高齢者および障害者が実際にはどのようにして生活し、どのような要望を持ちどのような援助を求めているのか、まずその方々のお話を伺う。</p> <p>○当事者からの問題提起から学ぶ。 援助者には何を期待するのだろうか。</p> <p>○援助者として何が必要かを考えて身近なところで実践に踏み出していきたい。</p> <p>○在宅の要介護高齢者のお宅を訪ねたり、障害者の方がたとにもすごしたり生活体験を深め、その中から生活援助のあり方を考え、介護者としての資質を高める。</p> <p>○自分の考えを記録にまとめ、広く他者に理解を広める。</p> <p><前期> 学内の活動 参考書やビデオなどから各自で学び抄読会を行う。</p> <p>地域活動 在宅の障害者や高齢者の家庭を訪問し直接当事者の方々から話を聞く。 障害者団体の旅行に付き添う。ボランティア活動などを行う。</p> <p><後期> 地域活動を継続し、レポートにまとめる。 在宅ケアのあり方をまとめる。 白梅祭に参加し、研究発表を行う。 学生同士のボランティア活動に協力したり、ゼミ運営は学生自身の自主活動とする。</p>	
【評価方法】 出席点、 レポート・その他により評価する。	

【授業科目】卒業研究ゼミナール	
【開講期】2年 前期・後期	【担当者】西方規恵
<p>【授業目標】</p> <p>障害者・高齢者の介護について考える</p> <p>施設見学・利用者宅訪問なども行いながら、介護実習で学んだことも生かして、介護についての考えを深めていく。</p>	
<p>【テキスト】ゼミナールの中で紹介する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期：</p> <p>参考書・ビデオなどを参考にしながら、障害のある方、高齢の方の介護について学ぶ。</p> <p>障害者の施設、病院、就労の場などを見学し、その中で介護について考える。</p> <p>後期：</p> <p>前期に学んだことをいかしてより深めたいことを決める。</p> <p>それに基づいて本・資料・現場の方の話を伺ったりして介護についてまとめる。</p> <p>2003年度は3つのグループに分かれて自主的に学びました。</p> <p>① 在宅で重度痴呆症の義母を介護された方にインタビューする事ができた、痴呆症の在宅介護についてまとめました。</p> <p>② デイサービスを利用されている痴呆症高齢者の家族の方にアンケートをお願いし、全国的な統計結果と比較を試みました。</p> <p>③ 高齢者の方々が罹りやすい感染症について学びました。</p> <p>以上は2003年の学びです。</p> <p>ゼミナールは自主的に学ぶ場であるので、様々な問題意識をもってお互いの意見交換をして、多くのことを学んでほしい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・ゼミに取り組む姿勢、態度・レポートなどにより評価する</p>	

【授業科目】	卒業研究ゼミナール	
【開講期】	2年 前・後期	【担当者】 土川 洋子
【授業目標】	<p>生活を支える上で、「心」の交流は重要である。しかし、現代社会の中で最も難解な援助技術である。専門職として求められる「よりよい対人関係」を構築する上で重要な「介護者自身のあり方」について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他者理解に不可欠な「対人関係」の構築方法を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーション技術の実際 2) 介護者の自己理解 2. 能動的・自発的な学習・研究態度の重要性を理解する。 	
【テキスト】	なし	
【参考書】	必要時、ゼミナールの中で紹介する。学生個別に必要文献を使用する。	
授 業 計 画		
<p><前期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 傾聴 2) 共感 3) 受容 <p>これらについて、日常会話の事例をグループワークで討議する。</p> 2. 自己理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己概念 2) 自己受容 3) 介護者の知覚・感情・思考 4) 自己表現 <p>これらについて、交流分析・グループワーク理論をもとにグループワークで討議する。</p> <p><後期></p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 能動的・自発的な学習態度 <ol style="list-style-type: none"> 1) 参考文献の検索方法を学ぶ。 2) 研究論文の輪読を行う。 3) 興味のある「学習テーマ」を探索する。 4) 「学習テーマ」についてプレゼンテーションする。 <ul style="list-style-type: none"> > 基本的に、学生主体であり、テーマは学生の興味のあることであればジャンルは問わない。 > 「学習テーマ」では、「結論」や「公式」を導き出のではなく、「課題」や「疑問」を導き出し、今後の介護活動など実践の場で鍛錬してゆくきっかけ作りとなるものにする。 > グループワークが持つ様々な機能を活用して、学生間での相互作用を引き出し、「学習テーマ」の目的達成を目指す。 		
【評価方法】	出席点、レポート、平常点などにより評価する。	

【授業科目】卒業研究ゼミナール	
【開講期】2年前期・後期	【担当者】山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>「21世紀の高齢者介護」を共通テーマで取り上げたい。まもなく日本は人類がこれまで経験したことがない未曾有の少子高齢社会に突入する。高齢者が3人に一人という時代が30年後にはやってくる。2001年から公的介護保険は始まったが、介護保険だけで高齢者介護を解決できるわけではない。痴ほうの問題は未解明な問題も多い。施設と在宅のあり方、そして負担と給付の問題、地域で支えるNPO、ボランティアの仕組みをどう作るのか。</p> <p>課題は山積する。幅広く高齢者介護の問題を考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>厚生労働省の研究会が昨年まとめた「2015年の高齢者介護」にまず取り組む。厚生労働白書や高齢白書、さらに関連する新聞記事を選び、議論する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「2015年の高齢者介護」をもとに高齢者介護の全体的な課題を学習した上で、痴ほうのケア、ユニットケア、施設と在宅との中間的施設、介護保険の問題などゼミメンバーの関心のあるテーマを取り上げ、グループに分かれ、調査研究をまとめる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と論議の参加状況、レポート</p>	

【授業科目】 地域福祉論	
【開講期】 2年前期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>90年代後半から本格的に始まった社会福祉基礎構造改革は、利用者本位の福祉の確立と共に、地域福祉の推進を柱とする。自立して生活することが難しい個人、家族に地域で自立して暮らせるように必要な援助をする。そのために必要な在宅サービスを提供し、それを支えるネットワークを作る。それが地域福祉の役割です。具体的にそれをどう進めていくのか。できるだけ地域福祉の実際をじかに地域福祉を担う</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>山路憲夫ら編著「地域福祉論」第一法規</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>第1回 地域福祉の動向と課題</p> <p>第2回 現代社会におけるコミュニティと地域社会</p> <p>第3回 現代社会と地域福祉</p> <p>第4回 地域福祉の構成</p> <p>第5回 地域福祉の推進方法</p> <p>第6回 福祉教育</p> <p>第7回 ボランティアの推進とNPOの組織化</p> <p>第8回 地域福祉計画</p> <p>第9回 地域における福祉活動・援助技術</p> <p>第10回 地域福祉推進の課題</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験</p>	

【授業科目】ホスピスケア概論	
【開講期】2年 後期	【担当者】梅田嘉子
<p>【授業目標】</p> <p>ホスピスとはなにか、ホスピスの理念、諸外国の例やわが国の現状を知り、「死の意味」や「死にゆく人々の心理」「がん告知」などを学び、末期医療・介護のあり方を考える。さらにホスピスケアの対象になる人々や種々の治療やその中で働くスタッフの役割を学びながら、個人個人の「生き方」「生きていくこと」をじっくり考える機会とする。そして自分自身を見つめながら、ホスピスケアにおける援助とはを考える。さらに《死生観》を築きあげる一助とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柏木 哲夫著 『死を看取る医学—ホスピスの現場から』 NHK 主版</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>日野原 重明著 『よく生きる』 日本工業新聞社</p> <p>谷 壮吉・錦織共著 『最新ホスピス Q&A 100』 東京書籍</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピスとは <ol style="list-style-type: none"> 1) ホスピスの歴史、定義、理念 2) ホスピスの使命、形態 3) 諸外国の現状とわが国の現状 2. 死の意味するもの <ol style="list-style-type: none"> 1) 死とはなにか 2) 末期医療の現状 3) 死にゆく人の心理過程 4) 日本人の心理過程 5) 安楽死、尊厳死、自殺等 3. ホスピスケア <ol style="list-style-type: none"> 1) 病名告知～がんと心の持ち方 2) 緩和医療とそのケア 3) ホスピススタッフ 4) 家族へのケア 4. 在宅における（地域）ホスピスケア 5. 「死への準備教育」のすすめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数・レポート提出（内容）・授業態度・平常点から評価する</p>	

[授業科目名] 視 聴 覚 メ デ ィ ア 活 用 法	
[開講期] 2 年 後 期	「担当者」 八木 紘一郎
<p>[授業目標]</p> <p>パソコンをマルチに使いこなす「技術」「知恵」を磨く。これからの介護現場 に従事する人たちの「表現文化性」を豊かにするためのアイデアとテクニックの習得をめざす。</p>	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この演習では、介護現場の「表現文化性」を豊かにするための知恵を教授する。 以下に提示した項目のいくつかを扱うことになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、基本テクニックとしてのパワーポイントの習得 パソコン使用技術はあることを前提にして授業をする。 共通テクニックとしては、パワーポイントだけ。あとはデジタルカメラ、スキャナ、イラスト、写真、など ビジュアルに描くテクニックなどを全てマルチに幅広く活用していく。 2、表現文化性豊かなコミュニケーションツールの製作 カード作成（クリスマスカード・年賀状） 誕生カード（実習先の利用者を想定した誕生カードの作成方法） カレンダー作成 3、デイケアのアートレクリエーション・ツールに使えるパソコンテクニック 4、実習先の施設紹介ちらし・パンフレット作成 PR用のレイアウト・デザインに必要な基本知識とテクニック 5、実習施設における各種行事の案内状作成 1年間を通した四季折々の季節行事・運動会・生活展・お祭りなどの案内状作成に必要な基本テクニックとマナー等の習得 6、自分、仲間の作品をコラボレーションし、CD-ROM化して持ち帰る。 	
<p>[評価方法]</p> <p>指定課題の提出</p>	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619